

クオリティ・オブ・ソサエティ指標

2021.10月

日英比較レポート

➤ 本調査内容に関する問合せ先
電通総研：山崎、馬籠、中川、木村
E-mail d-ii@dentsu.co.jp

クオリティ
オブ
ソサエティ

電通
総研

目次

- P3 クオリティ・オブ・ソサエティ指標の開発にあたり
- P4 クオリティ・オブ・ソサエティ指標とは
- P5 調査概要
- P6 設問項目一覧
- P7 指数の算出方法
- P8 日英スコア比較時の標準誤差
- 〈調査結果〉
- P9 1. 現在の社会について
- P22 2. 10年後の社会について
- P36 3. 選好する社会像について
- P40 4. 英国調査結果

クオリティ・オブ・ソサエティ指標の開発にあたり

電通総研は2021年6月、英国在住の2,000名を対象に、人びとの社会に対する意識について40の設問項目からなる調査を実施いたしました。本調査は、2021年5月に日本で実施した「クオリティ・オブ・ソサエティ指標 第1回調査」と同一の質問票を英語に翻訳し、英国在住の2,000名を対象に実施したものです。電通総研では、日本と英国の調査結果をもとに、両国の人びとの意識を比較・分析いたしました。

日本において2020年12月に実施した「パイロット調査」と2021年5月に実施した「クオリティ・オブ・ソサエティ指標 第1回調査」については、別途、電通総研ウェブサイトに掲載しております。

◎クオリティ・オブ・ソサエティ指標（パイロット調査）

<https://institute.dentsu.com/articles/1847/>

◎クオリティ・オブ・ソサエティ指標 第1回調査

<https://institute.dentsu.com/articles/2102/>

電通総研では、人びとが希望をもてる社会の実現につながるよう、「クオリティ・オブ・ソサエティ指標」調査を継続し、人びとの意識変化を捉えてまいりたいと思います。

クオリティ・オブ・ソサエティ指標とは

クオリティ・オブ・ソサエティ指標は、生活や社会についての「実感」、「社会の質」についての「評価」、「DX有効感」、「選好する社会像」の4つの領域から構成されます。

生活や社会についての「実感」

余力

希望

安心（不安なし）

指標 カテゴリー	項目
余力	S1 自分には心の余裕（余力）がある
	S2 自分の家計には余裕（余力）がある
	S3 自分の住む地域社会には人的、財政的な余裕（余力）がある
	S4 本国には人的、財政的な余裕（余力）がある
希望	S5 自分の生活や仕事には希望がある
	S6 自分の住む地域社会には希望がある
	S7 本国には希望がある
	S8 世界には希望がある
安心	S9 自分の生活や仕事には不安がない
	S10 自分の住む地域社会には不安がない
	S11 本国には不安がない
	S12 世界には不安がない

※指標カテゴリーの「安心」は調査では「不安がある」かについてを4段階で聴取したが、余力・希望と方向を揃えるために、本レポートでは選択肢を上記のように変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）のスコアをそう思う計（「そう思う」+「ややそう思う」）として使用

「社会の質」についての「評価」

社会のベース

社会関係資本

インクルージョン

社会の活力

指標 カテゴリー	項目
社会の ベース	S1 本国では、人びとの生活の安定を支える公的なしくみが充実している
	S2 本国は、子を持ち、育てやすい環境が整っている
	S3 本国は、大震災、感染症、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクに対して十分な対応が整っている
社会関係 資本	S4 本国は、社会や経済が大きなダメージを受けても復興・復旧する力がある。
	S5 自分は、家族以外に信頼できる人がいる
	S6 本国は、他者への信頼感が高い社会である
	S7 本国では、人びとは日常的にお互い助け合っている
インクルー ジョン	S8 本国では、非常事態が発生した時にお互い助け合うことができる
	S9 本国では、教育や就業について機会の平等が実現されている
	S10 本国では、多様な価値観・生き方が尊重されている
	S11 本国では、自分と異なる人種・国籍・宗教・性別・年齢の人に対して寛容である 本国では、子どもの権利が守られている
社会の活力	S12 ※ユニセフによれば「子どもの権利条約」の一般原則とは①命を守られ成長できること、②子どもにとって最善の利益を第一に考えること、③意見を表明し参加できること、④差別のないこと
	S13 本国では、人びとが失敗しても再チャレンジすることができる
	S14 本国社会は、一人ひとりの力で変えることができる
	S15 本国社会の制度は、政治・社会運動や社会貢献活動、SNSでの意思表示などによって変えることができる
	S16 本国の社会や経済には活力がある

調査概要

日本

- 調査時期 : 2021年5月6日～10日
- 調査方法 : インターネット調査
- 対象地域 : 全国
- 対象者 : 18～79歳の男女 ※高校生を含む
- サンプル数 : 12,000名（都道府県×性年代の人口構成比に合わせて回収）
- 業種排除 : なし
- 調査会社 : 電通マクロミルインサイト

英国

- 調査時期 : 2021年6月8日～6月18日
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査地域 : 全域
- 対象者 : 18～79歳男女 ※高校生を含む
- サンプル数 : 2,000名（下記エリアごとに性年代の人口構成比に合わせて回収）
- 業種排除 : なし

North East	London
North West	South East
Yorkshire and The Humber	South West
East Midlands	Northern Ireland
West Midlands	Scotland
East	Wales

※小数点以下の表記について

本報告書では、割合を示す%スコアは小数点1位まで、指数は小数点2位までを掲載しています。実際には小数点3位以下も含めて算出し、四捨五入で表記しています。そのため、各割合の単純合算数値が必ずしも100%にならない場合があります。また、項目間の平均値や指数間の差分についても、掲載の数値と一致しない場合があります。

設問項目一覧

■生活や社会についての「実感」：現在・10年後

◎余力

- 1 心の余力
- 2 家計の余力
- 3 地域社会の余力
- 4 国の余力

◎希望

- 5 生活や仕事への希望
- 6 地域社会への希望
- 7 国への希望
- 8 世界への希望

◎安心

- 9 生活や仕事への安心
- 10 地域社会への安心
- 11 国への安心
- 12 世界への安心

■「社会の質」についての「評価」：現在・10年後

◎社会のベース

- 1 社会、経済的安定
- 2 次世代の育成
- 3 災害などのリスクへの対応
- 4 国が復興・復旧する力

◎社会関係資本

- 5 家族以外の人的信頼関係
- 6 他者への信頼感
- 7 互助の精神

◎インクルージョン

- 8 機会の平等
- 9 多様性の尊重
- 10 自分と異なる人に対する寛容性
- 11 子どもの権利

◎社会の活力

- 12 失敗の許容、再チャレンジ可能
- 13 社会変革の有効感
※個人レベルと目的集団レベル
- 14 社会、経済の活力

■DX有効感について：現在・10年後

◎DX有効感

- 1 教育機会の拡大、不平等の解消
- 2 人間性
- 3 暮らしの豊かさ
- 4 レンタルやシェアサービスの利用加速

■選好する社会像について

◎次世代

◎環境

◎レジリエンス

◎国際協力

◎統治システム

◎行政改革

◎社会費用負担

◎機会の平等

◎人口減少社会

◎他者への寛容

指数の算出方法

Step1

各質問の回答を得点化

「そう思う」	=	+10点
「ややそう思う」	=	+6.66点
「あまりそう思わない」	=	+3.33点
「そう思わない」	=	+0.00点

「生活や社会についての『実感』」と「『社会の質』についての『評価』」は独自の算出方法に基づいて指数化しています。

Step2

各項目の総得点を回答者数で割り平均得点を算出

		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		(+10.00)	(+6.66)	(+3.33)	(+0.00)
自分には心の余裕（余力）がある	(12000)	831	4689	4841	1639

(例)

「そう思う」	=	+10点	×	831ss
「ややそう思う」	=	+6.66点	×	4689ss
「あまりそう思わない」	=	+3.33点	×	4841ss
「そう思わない」	=	+0.00点	×	1639ss

得点合計 = 55659点

▶ 各項目の平均得点 = 各項目の得点合計 ÷ 回答者数 = 55659点 ÷ 12000ss = 4.64点

Step3

指標カテゴリーごとに、該当項目の平均得点を算出

Step4

指標カテゴリーの平均得点から総合得点平均を算出

	余力			希望				安心				
	自分には心の余裕（余力）がある	自分の家計には余裕（余力）がある	自分の住む地域社会には人的、財政的な余裕（余力）がある	日本には人的、財政的な余裕（余力）がある	自分の生活や仕事には希望がある	自分の住む地域社会には希望がある	日本には希望がある	世界には希望がある	自分の生活や仕事には不安がない	自分の住む地域社会には不安がない	日本には不安がない	世界には不安がない
平均	4.64	3.68	3.83	3.21	4.47	4.39	3.97	4.45	3.72	4.94	2.65	2.51

(例)

余力	=	(4.64+3.68+3.83+3.21) ÷ 4 = 3.84
希望	=	(4.47+4.39+3.97+4.45) ÷ 4 = 4.32
安心	=	(3.72+4.94+2.65+2.51) ÷ 4 = 3.45

3指標平均(総合得点平均)
= (3.84+4.32+3.45) ÷ 3 = 3.87点

日英スコア比較時の標準誤差

■標準誤差について

本調査12,000サンプルと英国調査2,000サンプルの標本サイズの誤差幅は、信頼区間95%とし、誤差値が最大となる50%の回答スコアで計算すると約±2.4となります。

二国間の差が±2.4ポイント以上あるものは、有意な差があるとみなされます。

日本

n1=12,000

英国

n2=2,000

* 比率の差の標準誤差公式

$$E = 1.96 \sqrt{p(1-p) \left(\frac{1}{n1} + \frac{1}{n2} \right)}$$

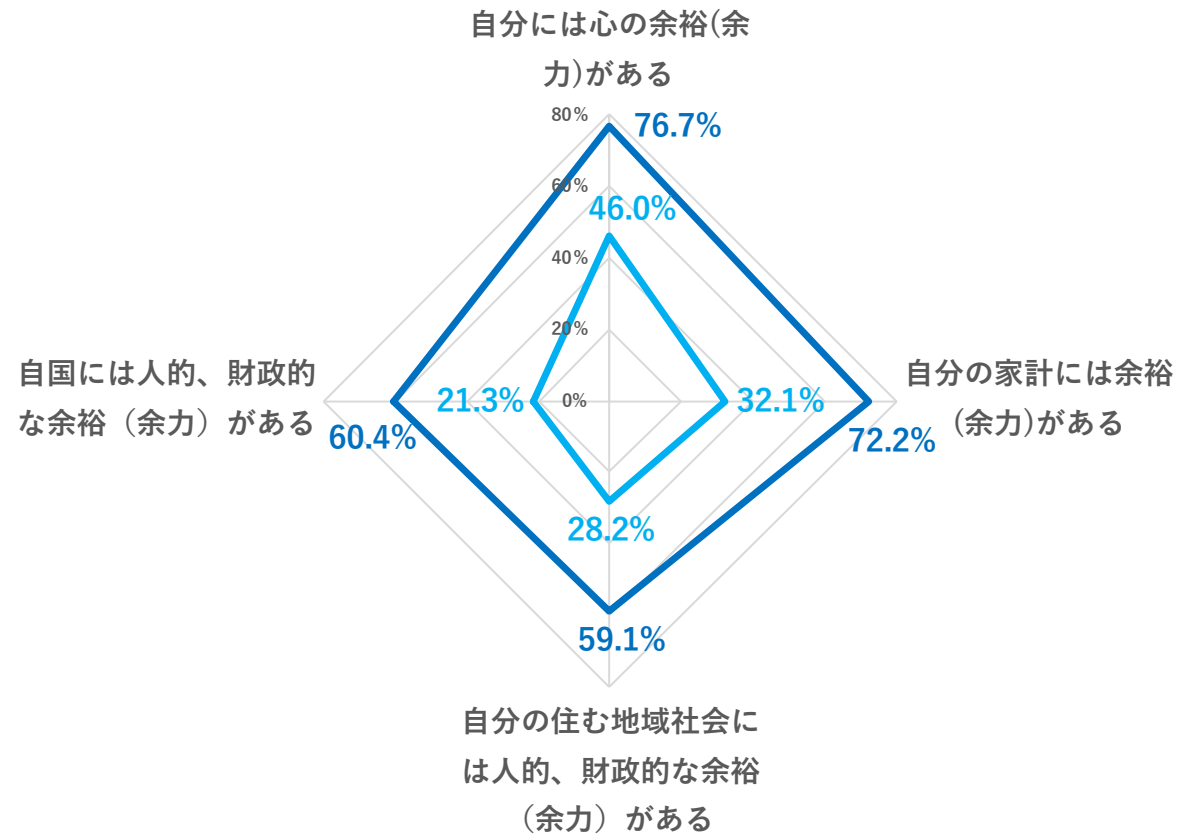
1. 現在の社会について

生活や社会についての「実感」 - 【余力】

3指数の平均 日本：3.87 /10点満点

英国：5.60 /10点満点

余力



日本の指数：3.84 /10点満点

英国の指数：6.06 /10点満点

【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】

■：日本 そう思う計（そう思う+ややそう思う）

■：英国 そう思う計（そう思う+ややそう思う）

※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照

生活や社会についての「実感」 - 【希望】

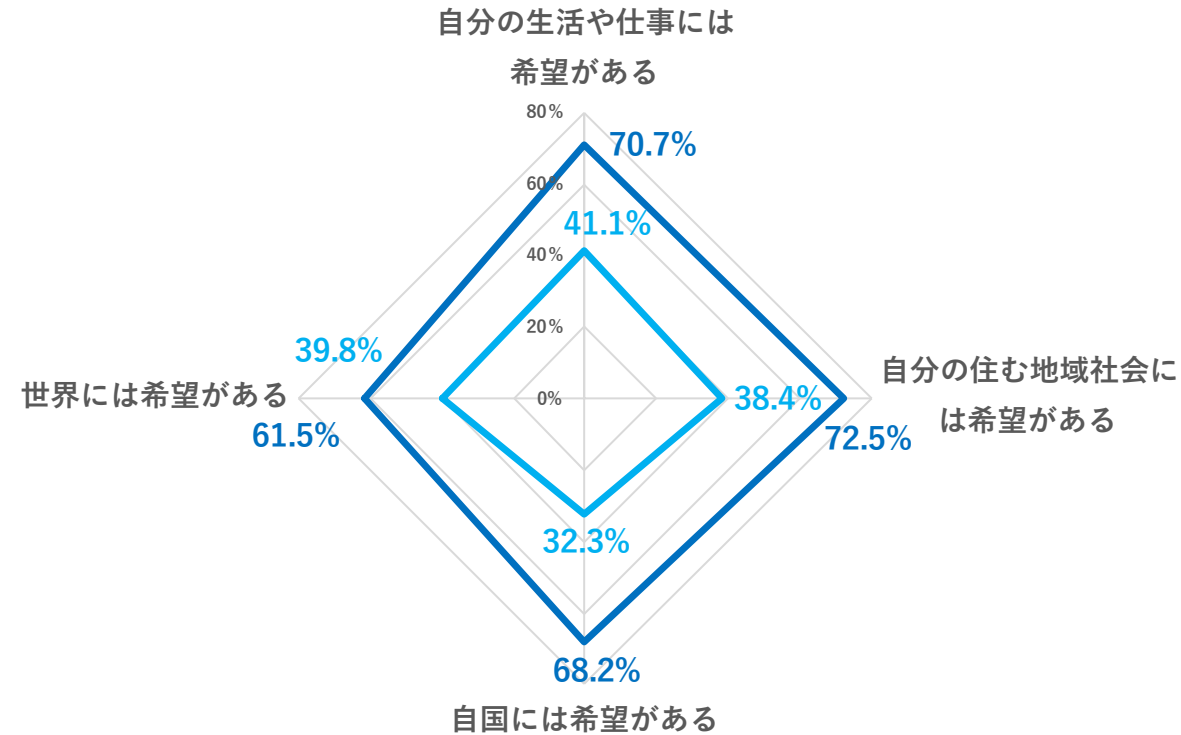
3指数の平均 日本：3.87 /10点満点

英国：5.60 /10点満点

希望

日本の指数：4.32 /10点満点

英国の指数：6.06 /10点満点



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：日本 そう思う計（そう思う+ややそう思う） ■：英国 そう思う計（そう思う+ややそう思う）
※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照

生活や社会についての「実感」 - 【安心】

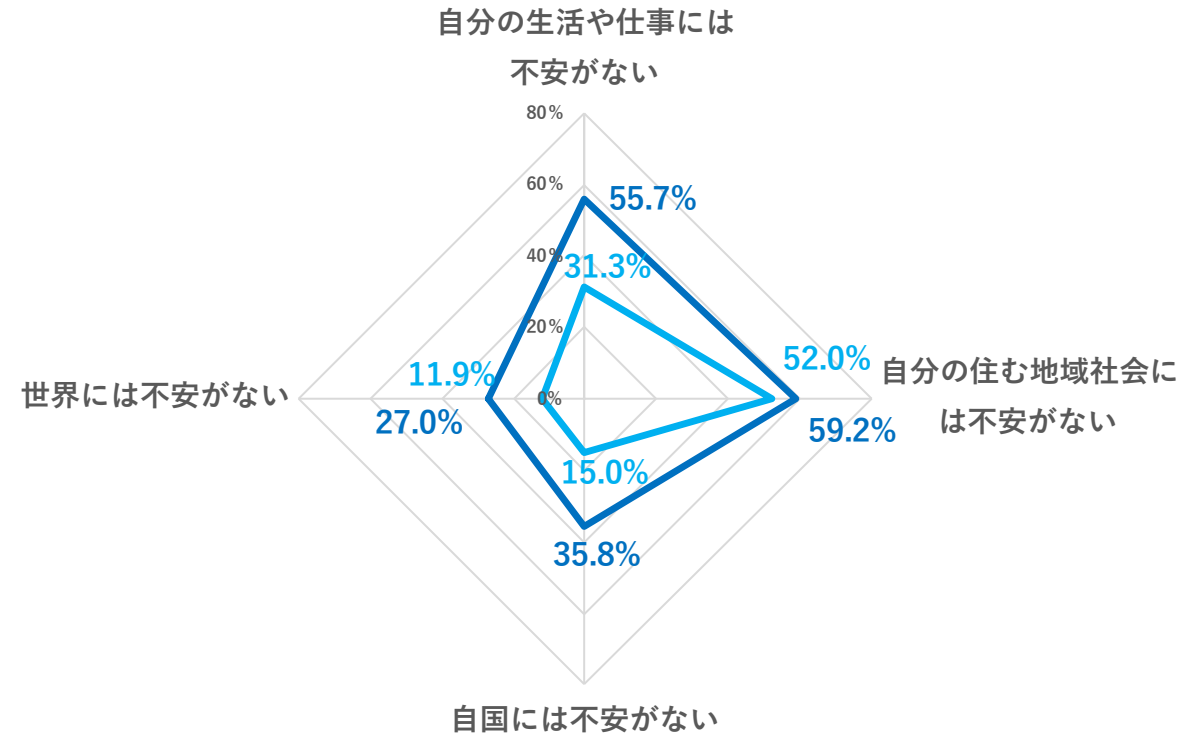
3指数の平均 日本：3.87 / 10点満点

英国：5.60 / 10点満点

安心

日本の指数：3.45 / 10点満点

英国の指数：4.67 / 10点満点



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：日本 そう思う計（そう思う+ややそう思う） ■：英国 そう思う計（そう思う+ややそう思う）

※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照

※調査では「不安がある」かについてを4段階で聴取したが、余力・希望と方向を揃えるために、選択肢を変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）のスコアをそう思う計（「そう思う」+「ややそう思う」）として使用

生活や社会についての「実感」

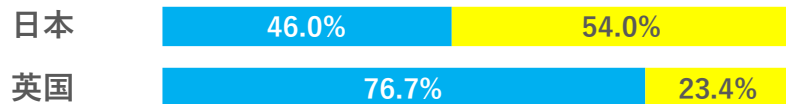
日本Q1/英国Q9：現在の世界や自国社会、ご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 (「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答)

3指数の平均 日本： **3.87** /10点満点
 英国： **5.60** /10点満点

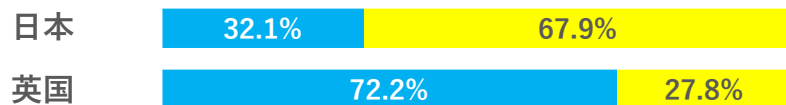
余力

日本の指数： **3.84**
 英国の指数： **6.06**

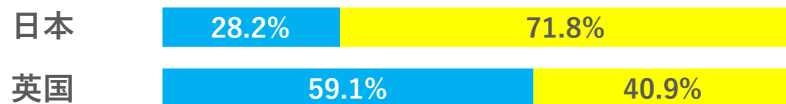
自分には心の余裕（余力）がある



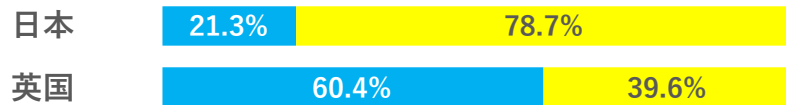
自分の家計には余裕（余力）がある



自分の住む地域社会には人的、財政的な余裕（余力）がある



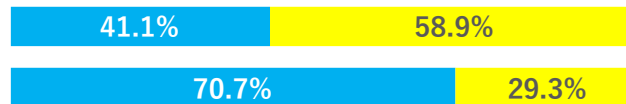
自国には人的、財政的な余裕（余力）がある



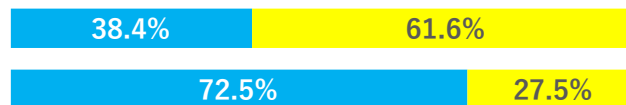
希望

日本の指数： **4.32**
 英国の指数： **6.06**

自分の生活や仕事には希望がある



自分の住む地域社会には希望がある



自国には希望がある



世界には希望がある



安心

日本の指数： **3.45**
 英国の指数： **4.67**

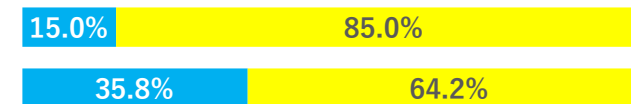
自分の生活や仕事には不安がない



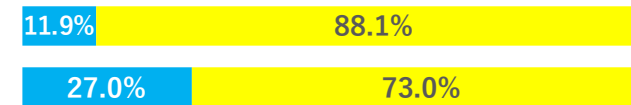
自分の住む地域社会には不安がない



自国には不安がない



世界には不安がない



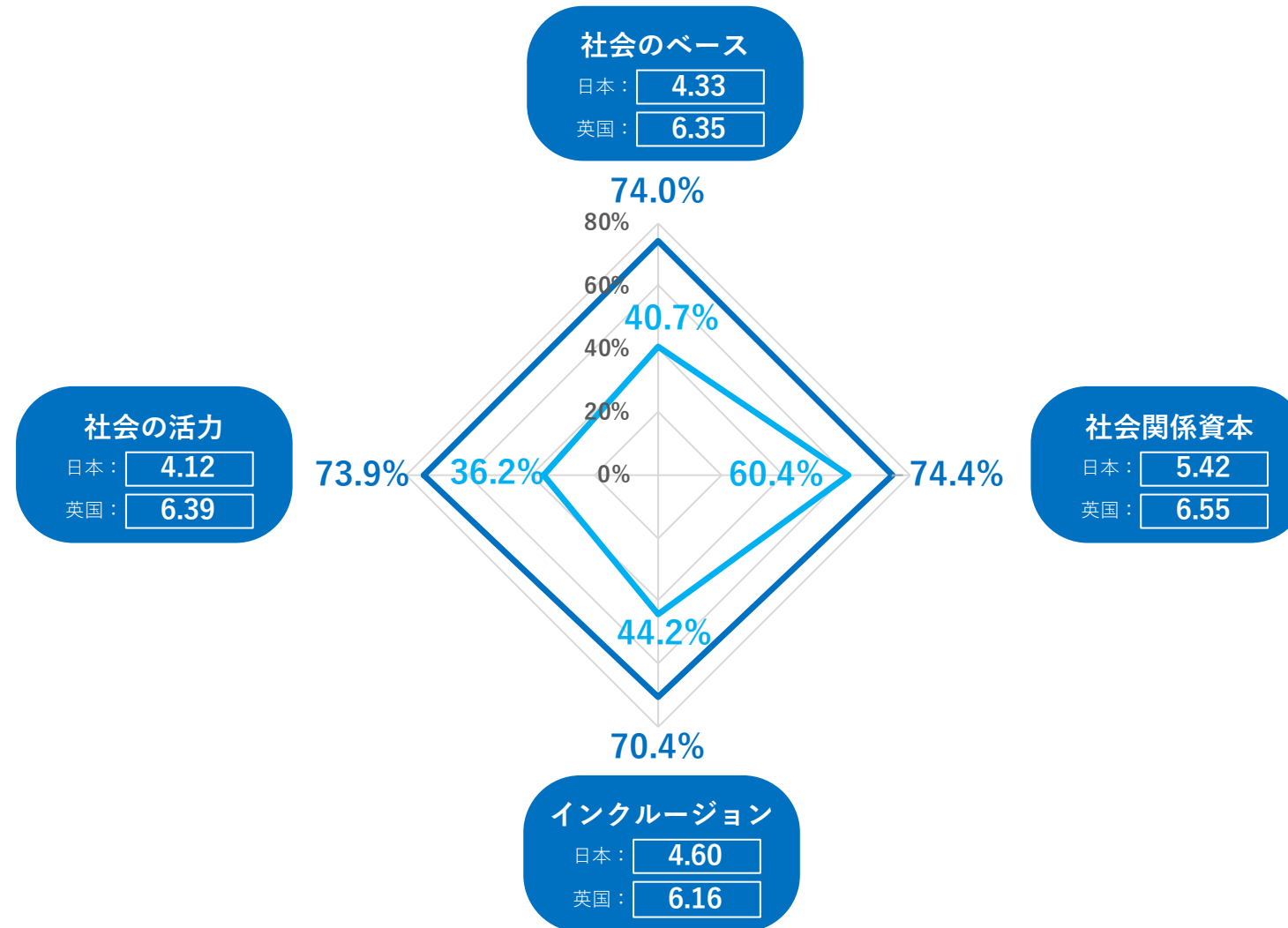
【基数：対象者全員（日本：n=12000/英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）
 ※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照

※調査では「不安がある」かについてを4段階で聴取したが、余力・希望と方向を揃えるために、選択肢を変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）のスコアをそう思う計（「そう思う」+「ややそう思う」）として使用

「社会の質」についての「評価」

4指数の平均 日本： **4.62** /10点満点

英国： **6.36** /10点満点



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：日本 各カテゴリーごとのそう思う計の平均値 ■：英国 各カテゴリーごとのそう思う計の平均値
 ※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照

「社会の質」についての「評価」 - 【社会のベース】

4指数の平均 日本：4.62 /10点満点
英国：6.36 /10点満点

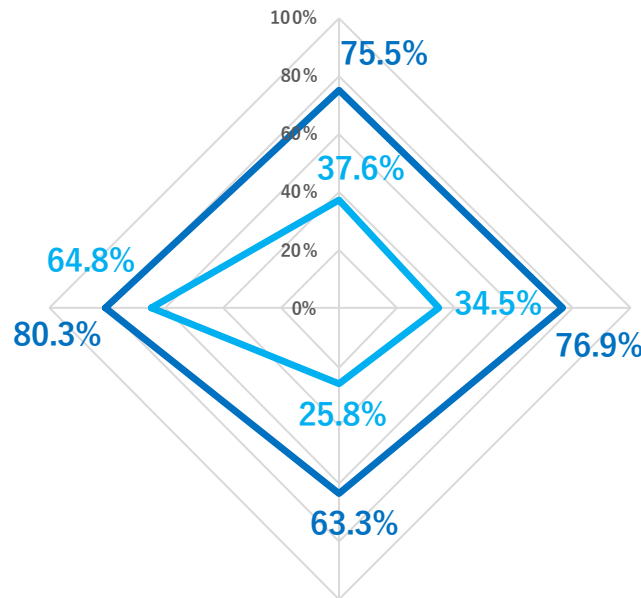
社会のベース

自国では、人びとの生活の安定を支える公的なしくみが充実している

日本の指数：4.33 /10点満点

英国の指数：6.35 /10点満点

自国は、社会や経済が大きなダメージを受けても復興・復旧する力がある



自国は、子どもをもち、育てやすい環境が整っている

自国は、大震災、感染症、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクに対して十分な対応が整っている

【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：日本 そう思う計（そう思う+ややそう思う） ■：英国 そう思う計（そう思う+ややそう思う）
※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照

「社会の質」についての「評価」 - 【社会関係資本】

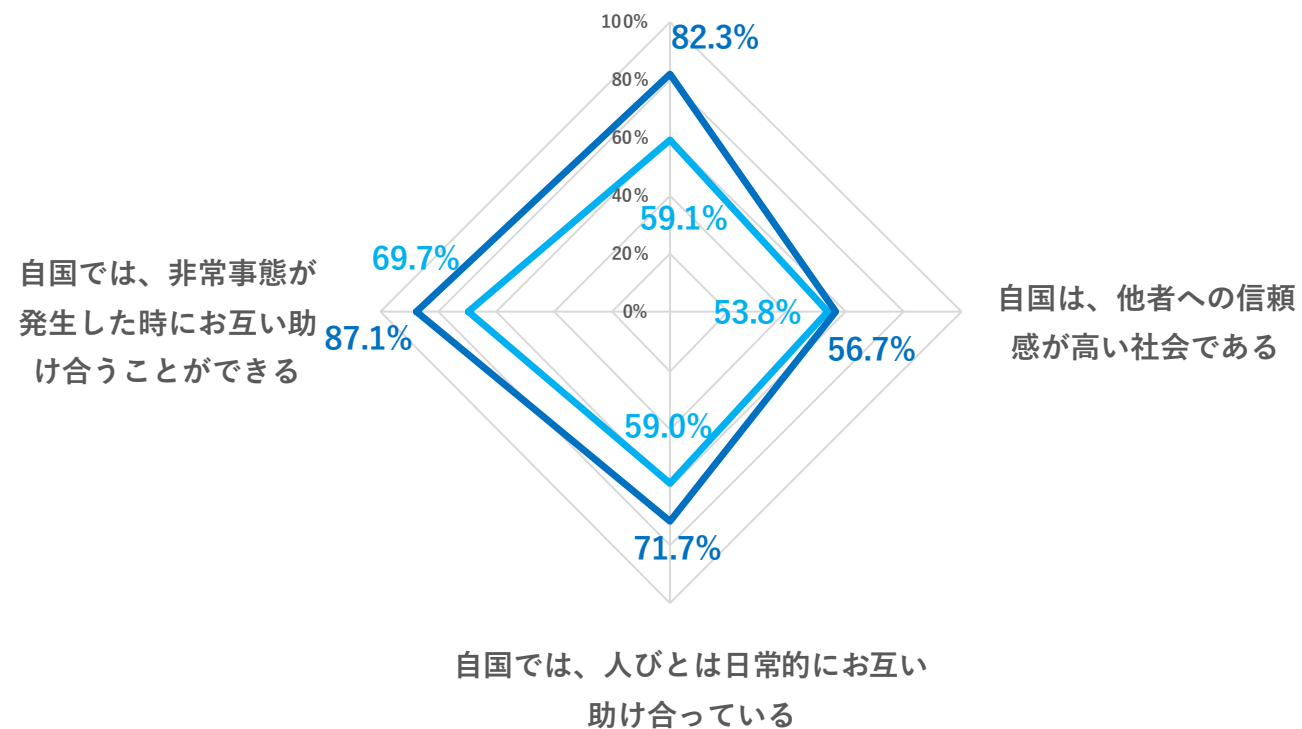
4指数の平均 日本：4.62 /10点満点
英国：6.36 /10点満点

社会関係資本

自分は、家族以外に信頼できる人
がいる

日本の指数：5.42 /10点満点

英国の指数：6.55 /10点満点



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：日本 そう思う計（そう思う+ややそう思う） ■：英国 そう思う計（そう思う+ややそう思う）
※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照

「社会の質」についての「評価」 - 【インクルージョン】

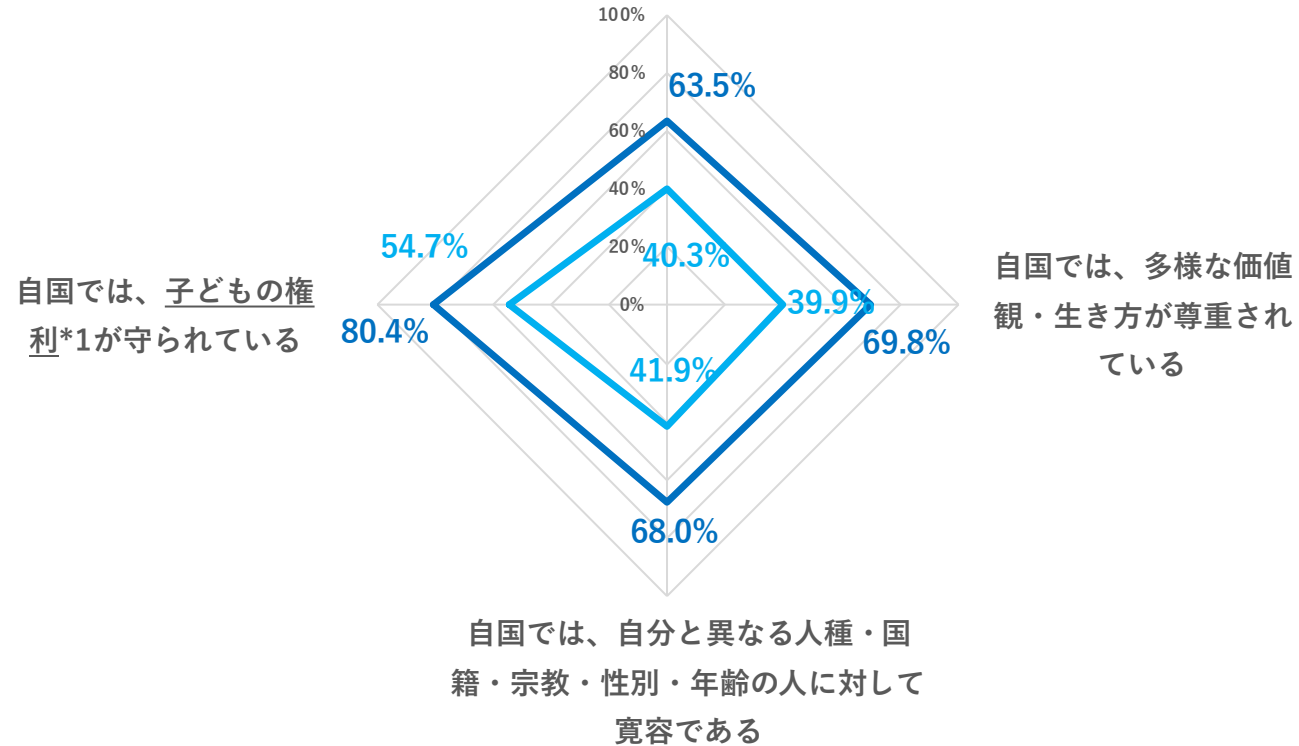
4指数の平均 日本：4.62 /10点満点
英国：6.36 /10点満点

インクルージョン

自国では、教育や就業について機
会の平等が実現されている

日本の指数： 4.60 /10点満点

英国の指数： 6.16 /10点満点



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：日本 そう思う計（そう思う+ややそう思う） ■：英国 そう思う計（そう思う+ややそう思う）

※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照

*1：ユニセフによれば「子どもの権利条約」の一般原則とは①命を守られ成長できること、②子どもにとって最善の利益を第一に考えること、③意見を表明し参加できること、④差別のないこと

「社会の質」についての「評価」－【社会の活力】

4指数の平均 日本：4.62 /10点満点
英国：6.36 /10点満点

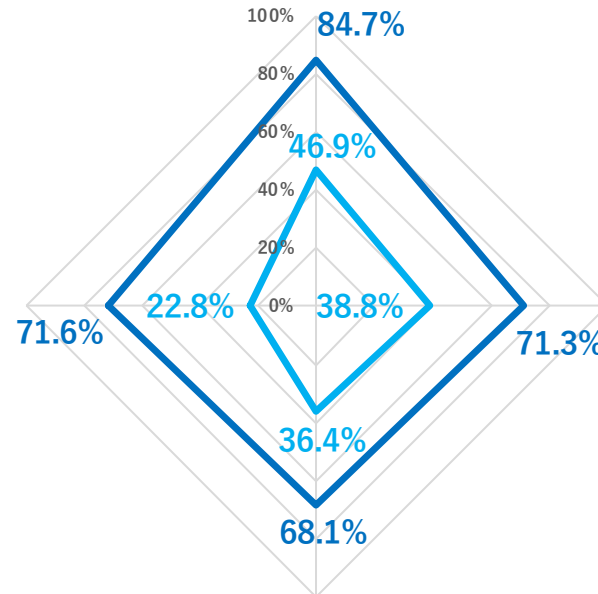
社会の活力

自国では、人びとが失敗しても再
チャレンジすることができる

日本の指数：4.12 /10点満点

英国の指数：6.39 /10点満点

自国の社会や経済には
活力がある



自国社会は、一人ひとりの力で変えることができる

自国社会の制度は、政治・社会運動
や社会貢献活動、SNSでの意思表示
などによって変えることができる

【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：日本 そう思う計（そう思う+ややそう思う） ■：英国 そう思う計（そう思う+ややそう思う）
※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照

「社会の質」についての「評価」

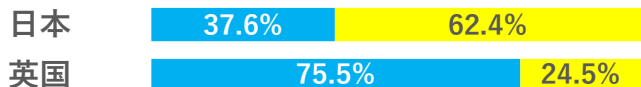
日本Q2/英国Q10：現在の自国社会やご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 (「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答)

4指数の平均 日本：4.62/10点満点
 英国：6.36/10点満点

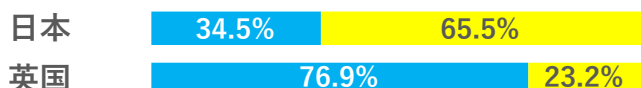
社会のベース

日本の指数：4.33
 英国の指数：6.35

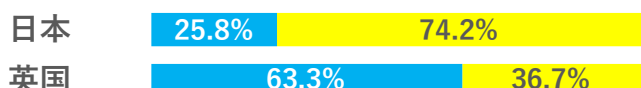
自国では、人びとの生活の安定を支える公的なしくみが充実している



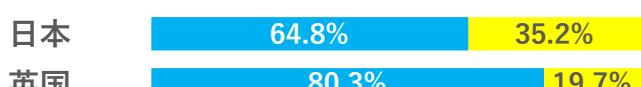
自国は、子を持ち、育てやすい環境が整っている



自国は、大震災、感染症、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクに対して十分な対応が整っている



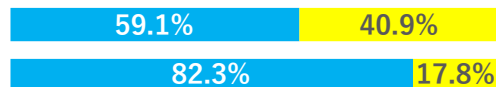
自国は、社会や経済が大きなダメージを受けても復興・復旧する力がある



社会関係資本

日本の指数：5.42
 英国の指数：6.55

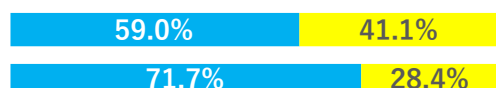
自分は、家族以外に信頼できる人がいる



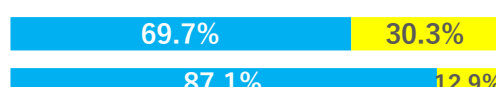
自国は、他者への信頼感が高い社会である



自国では、人びとは日常的に互いに助け合っている



自国では、非常事態が発生した時に互いに助け合うことができる



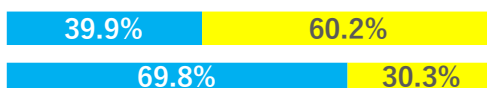
インクルージョン

日本の指数：4.60
 英国の指数：6.16

自国では、教育や就業について機会の平等が実現されている



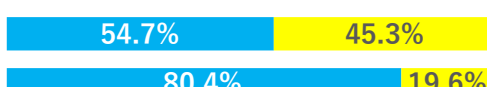
自国では、多様な価値観・生き方が尊重されている



自国では、自分と異なる人種・国籍・宗教・性別・年齢の人に対して寛容である



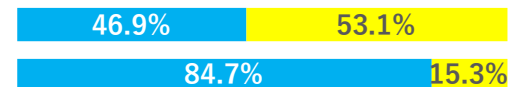
自国では、子どもの権利*1が守られている



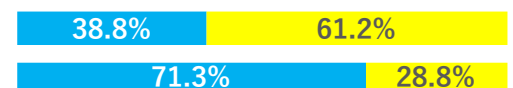
社会の活力

日本の指数：4.12
 英国の指数：6.39

自国では、人びとが失敗しても再チャレンジすることができる



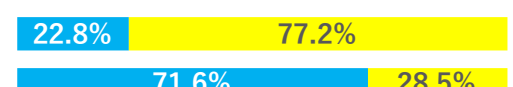
自国社会は、一人ひとりの力で変えることができる



自国社会の制度は、政治・社会運動や社会貢献活動、SNSでの意思表示などによって変えることができる



自国の社会や経済には活力がある

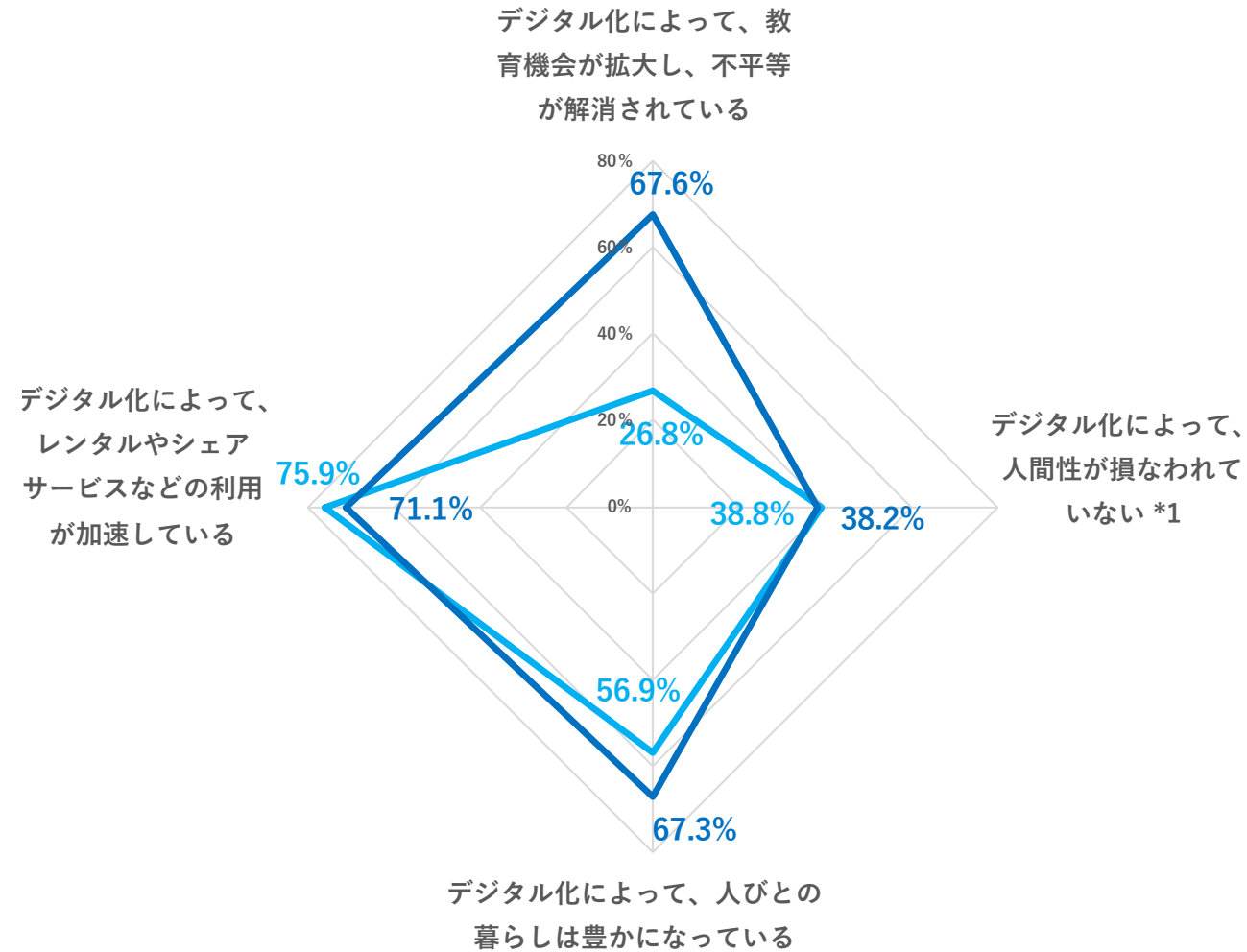


【基数：対象者全員（日本：n=12000/英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）

※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照

*1：ユニセフによれば「子どもの権利条約」の一般原則とは①命を守られ成長できること、②子どもにとって最善の利益を第一に考えること、③意見を表明し参加できること、④差別のないこと

DX有効感について

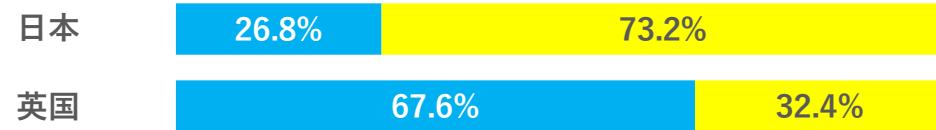


【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：日本 そう思う計（そう思う+ややそう思う） ■：英国 そう思う計（そう思う+ややそう思う）
 ※調査では、同じ意味合いを持った「デジタル化によって、教育機会が拡大し、不平等が解消されている」と「デジタル化によって、教育機会が不均衡になり、格差が拡大している」を聴取したが、レーダーチャートでは、「デジタル化によって、教育機会が拡大し、不平等が解消されている」のスコアのみを使用
 *1：調査では「デジタル化によって、人間性が損なわれている」と聴取したが、本レポートでは「デジタル化によって、人間性が損なわれていない」に変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）のスコアをそう思う計（「そう思う」+「ややそう思う」）として使用

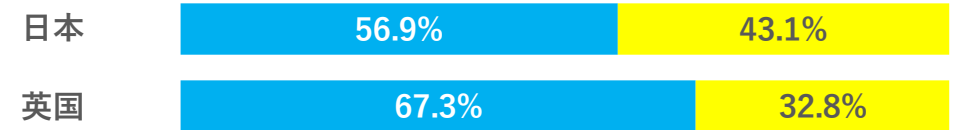
DX有効感について

日本Q3／英国Q11：現在の技術革新やそれに伴う社会の変化についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
（「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答）

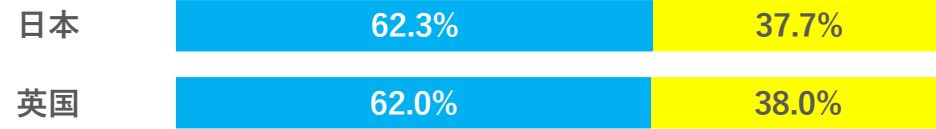
デジタル化によって、教育機会が拡大し、不平等が解消されている



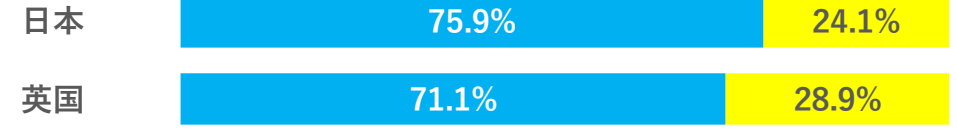
デジタル化によって、人びとの暮らしは豊かになっている



デジタル化によって、教育機会が不均衡になり、格差が拡大している



デジタル化によって、レンタルやシェアサービスなどの利用が加速している



デジタル化によって、人間性が損なわれていない*1



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う）／■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）

*1：調査では「デジタル化によって、人間性が損なわれている」と聴取したが、本レポートでは「デジタル化によって、人間性が損なわれていない」に変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）のスコアをそう思う計（「そう思う」+「ややそう思う」）として使用

2. 10年後の社会について

生活や社会についての「実感」－【余力】：現在の実感と10年後の期待

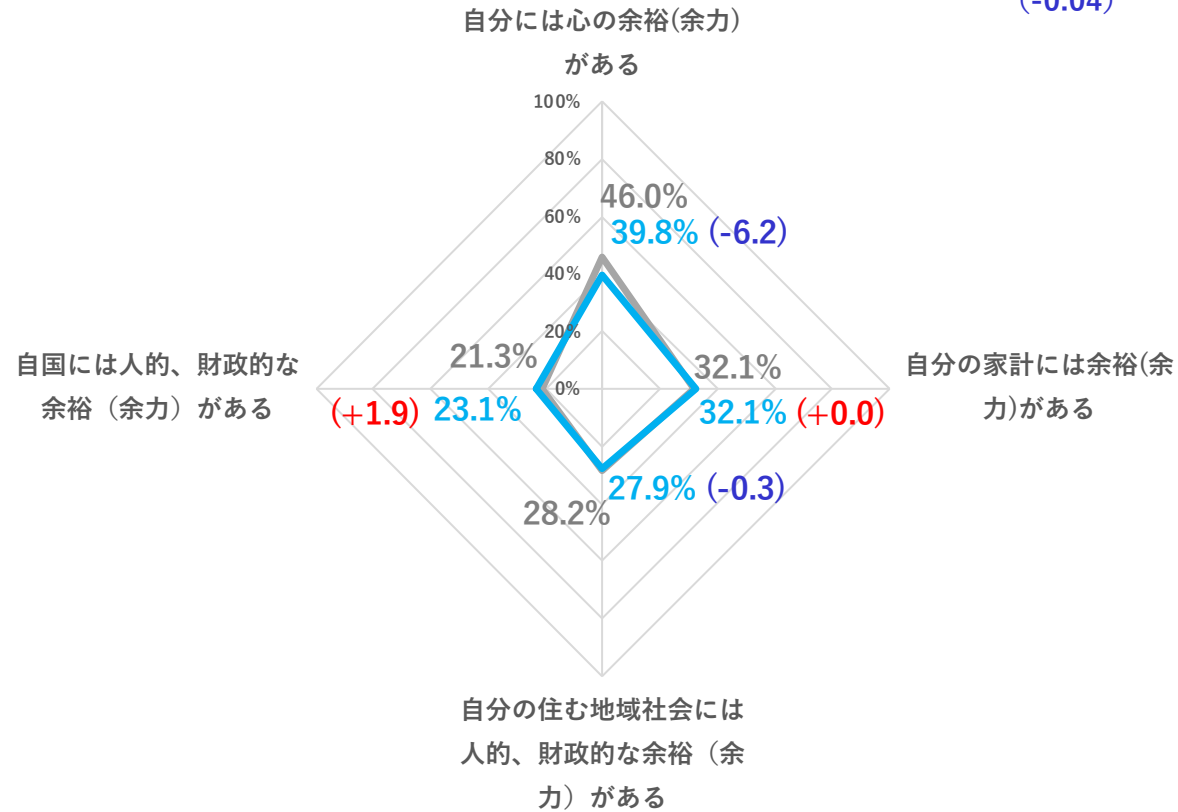
	日本	英国	
3指数の平均	現在： 3.87	5.60	/10点満点
	10年後： 3.77	5.71	/10点満点
	(-0.10)	(+0.11)	

日本

現在の指数： 3.84 /10点満点

10年後の指数： 3.80 /10点満点

(-0.04)

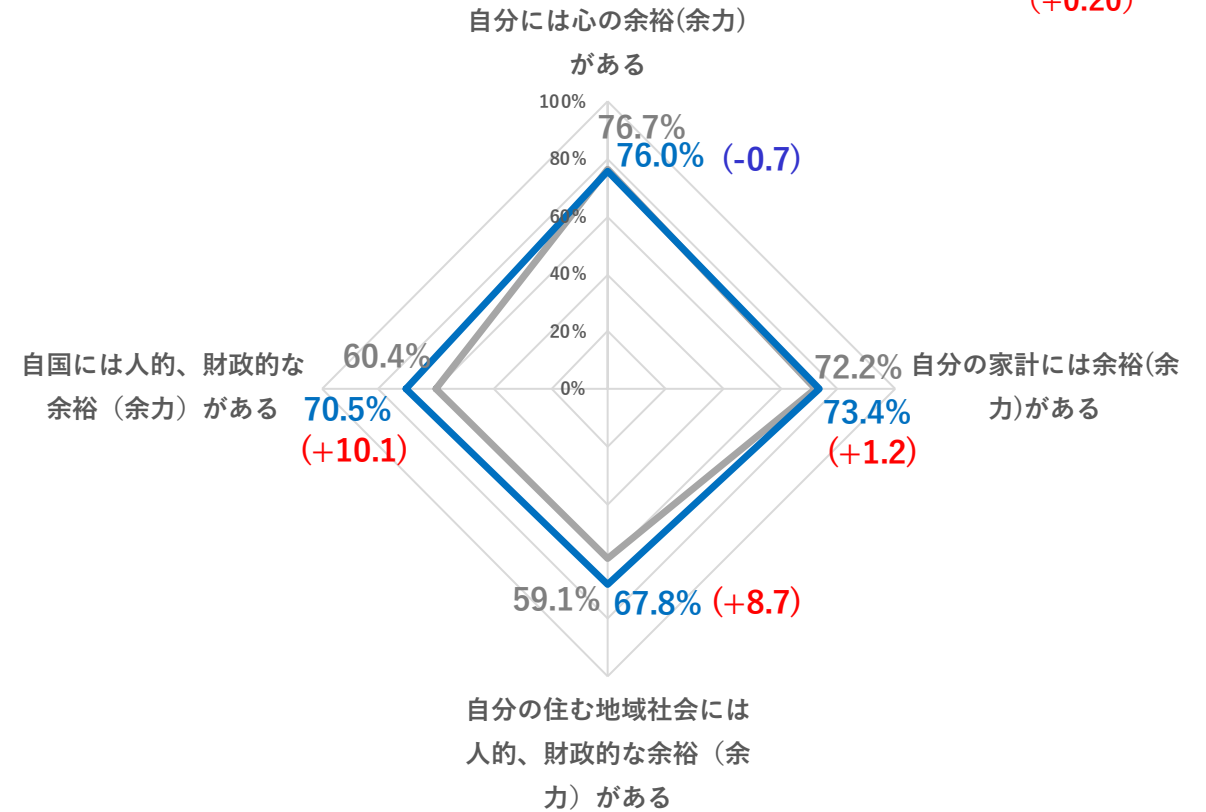


英国

現在の指数： 6.06 /10点満点

10年後の指数： 6.26 /10点満点

(+0.20)



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：現在 そう思う計（そう思う+ややそう思う）
 ※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後－現在

■：10年後 そう思う計（そう思う+ややそう思う）

生活や社会についての「実感」－【希望】：現在の実感と10年後の期待

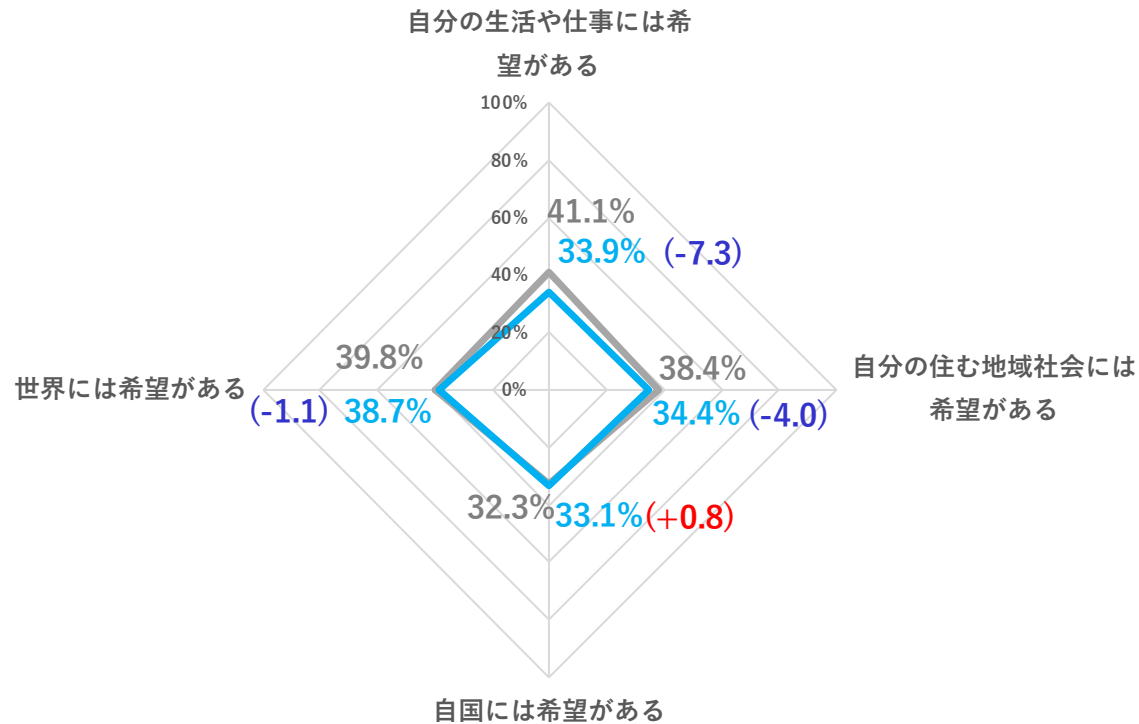
	日本	英国	
3指数の平均	現在： 3.87	5.60	/10点満点
	10年後： 3.77	5.71	/10点満点
	(-0.10)	(+0.11)	

日本

現在の指数： 4.32 /10点満点

10年後の指数： 4.08 /10点満点

(-0.23)

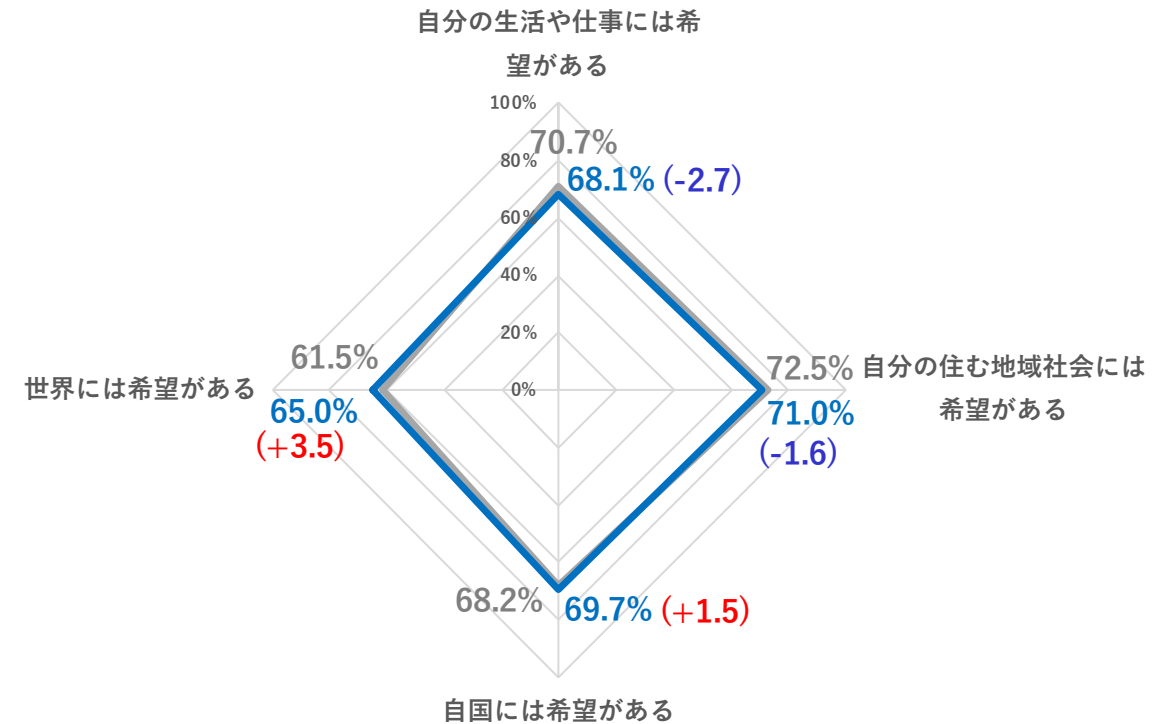


英国

現在の指数： 6.06 /10点満点

10年後の指数： 6.06 /10点満点

(-0.01)



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】
 ※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後－現在

— : 現在 そう思う計（そう思う+ややそう思う）
 — : 10年後 そう思う計（そう思う+ややそう思う）

生活や社会についての「実感」－【安心】：現在の実感と10年後の期待

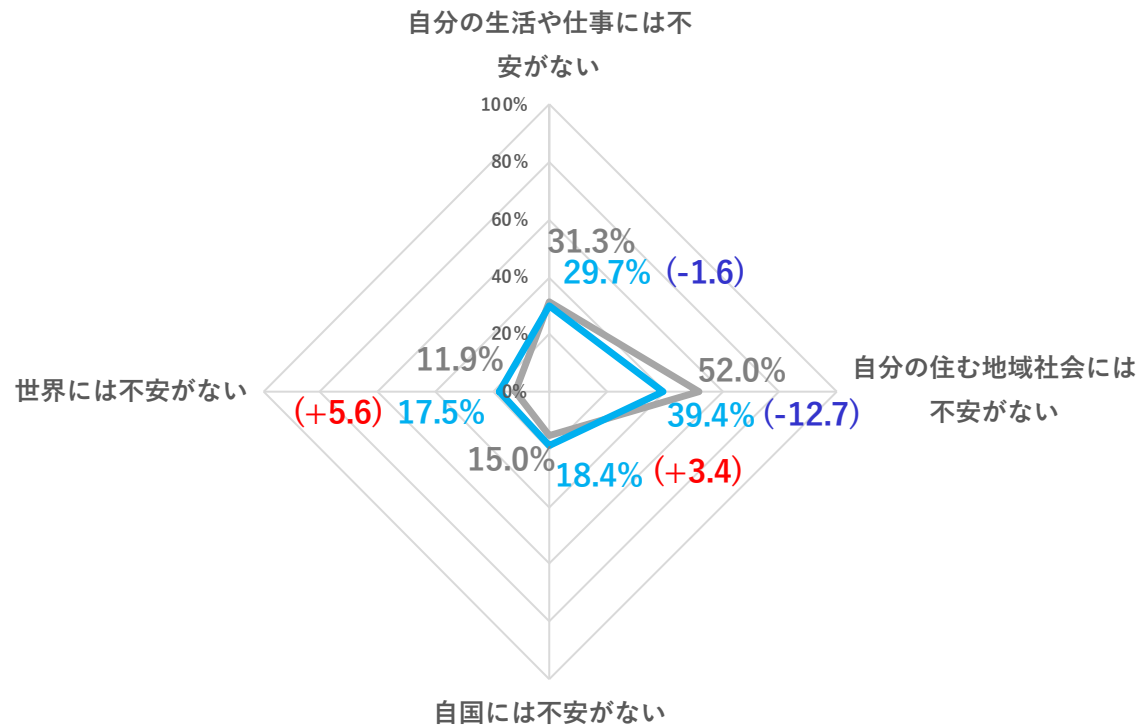
	日本	英国
3指数の平均 現在	3.87	5.60
10年後	3.77	5.71
	(-0.10)	(+0.11)

日本

現在の指数： 3.45 /10点満点

10年後の指数： 3.42 /10点満点

(-0.03)

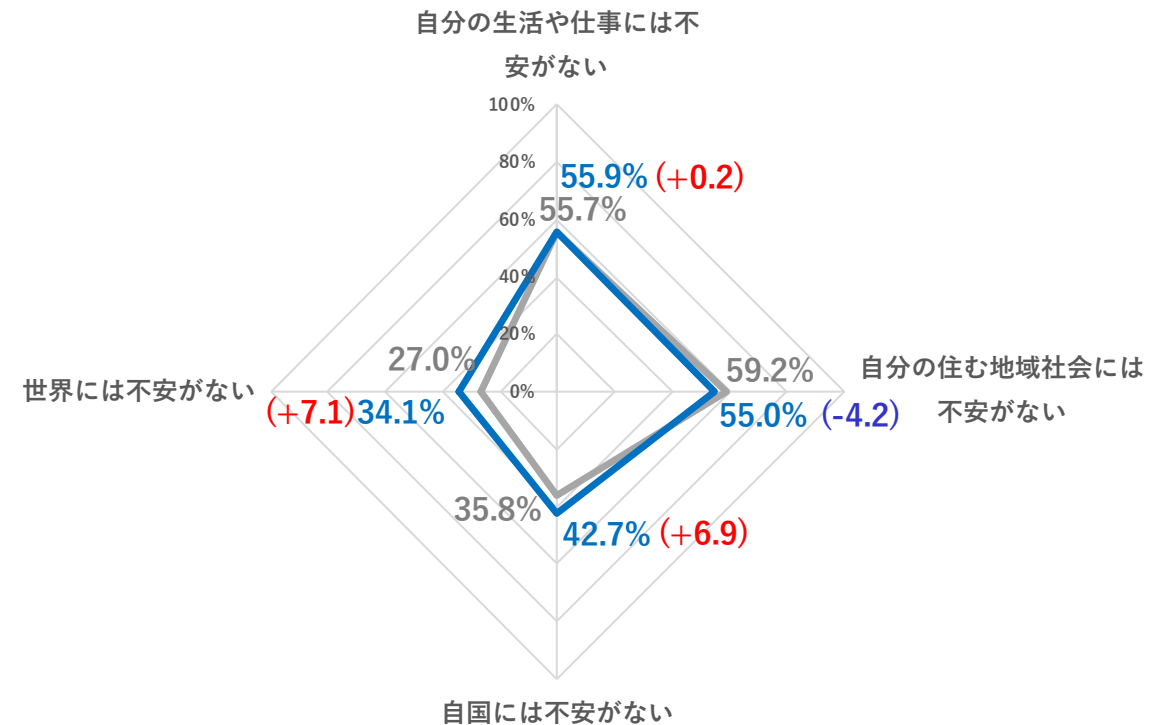


英国

現在の指数： 4.67 /10点満点

10年後の指数： 4.80 /10点満点

(+0.13)



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：現在 そう思う計（そう思う+ややそう思う） ■：10年後 そう思う計（そう思う+ややそう思う）

※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後－現在

※調査では「不安がある」かについてを4段階で聴取したが、余力・希望と方向を揃えるために、選択肢を変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）のスコアをそう思う計（「そう思う」＋「ややそう思う」）として使用

生活や社会についての「実感」－【余力】：現在の実感と10年後の期待

日本Q1/英国Q9：現在の世界や自国社会、ご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。

日本Q4/英国Q12：10年後の世界や自国社会、ご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、10年後はどうなっていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。

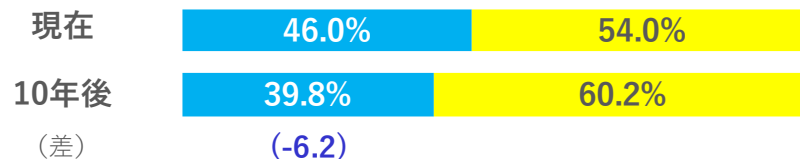
(「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答)

	日本	英国	
3指数の平均	現在：3.87	5.60	/10点満点
	10年後：3.77	5.71	/10点満点
	(-0.10)	(+0.11)	

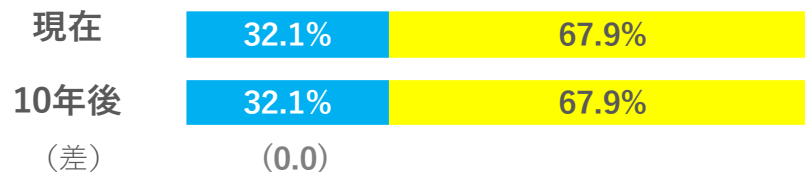
日本

現在の指数：3.84 /10点満点
10年後の指数：3.80 /10点満点 (-0.04)

自分には
心の余裕（余力）がある



自分の家計には
余裕（余力）がある



自分の住む地域社会には
人的、財政的な
余裕（余力）がある

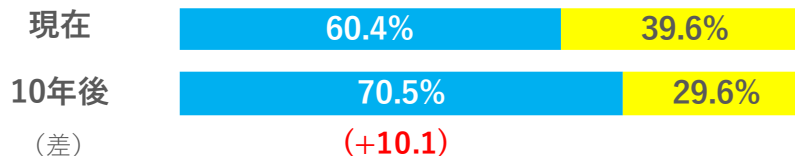
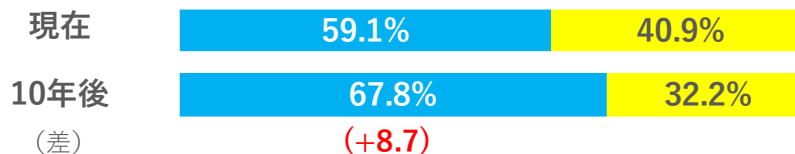
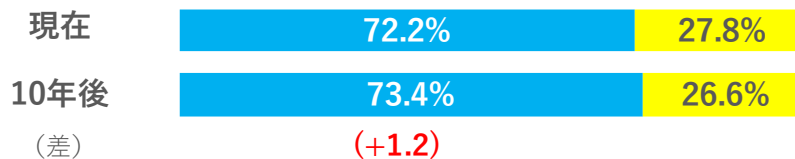
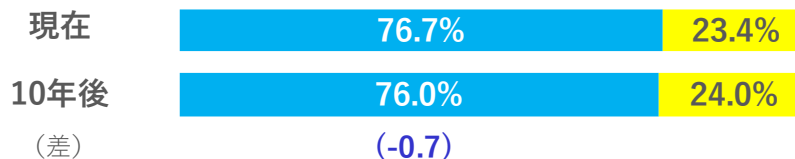


自国には人的、財政的な
余裕（余力）がある



英国

現在の指数：6.06 /10点満点
10年後の指数：6.26 /10点満点 (+0.20)



【基数：対象者全員（日本：n=12000/英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）

※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後－現在

生活や社会についての「実感」－【希望】：現在の実感と10年後の期待

日本Q1/英国Q9：現在の世界や自国社会、ご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。

日本Q4/英国Q12：10年後の世界や自国社会、ご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、10年後はどうなっていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。

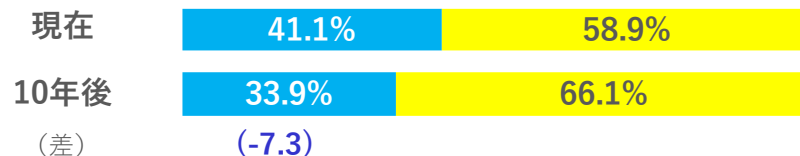
(「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答)

	日本	英国	
3指数の平均	現在：3.87	5.60	/10点満点
	10年後：3.77	5.71	/10点満点
	(-0.10)	(+0.11)	

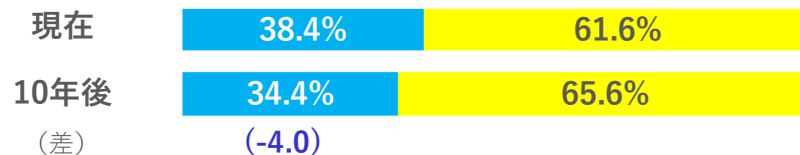
日本

現在の指数：4.32 /10点満点
10年後の指数：4.08 /10点満点 (-0.23)

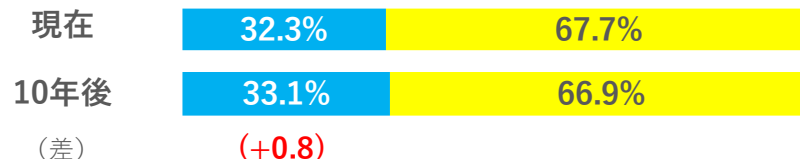
自分の生活や仕事には
希望がある



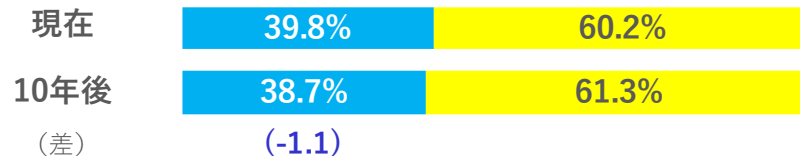
自分の住む地域社会には
希望がある



自国には希望がある

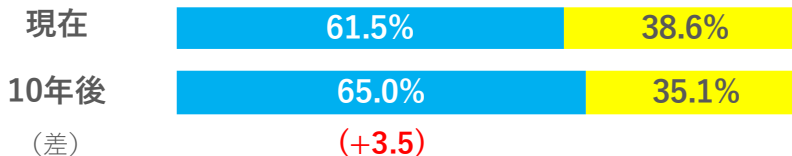
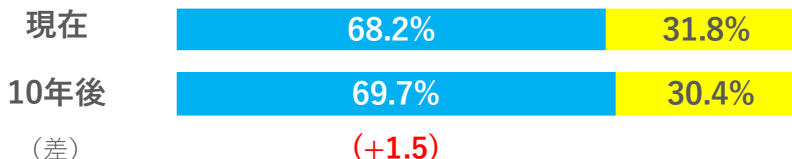
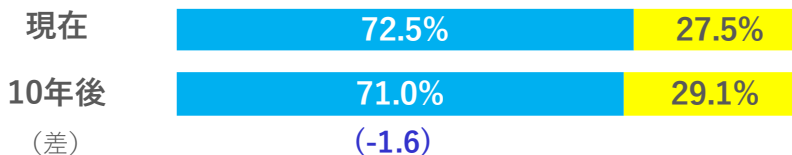
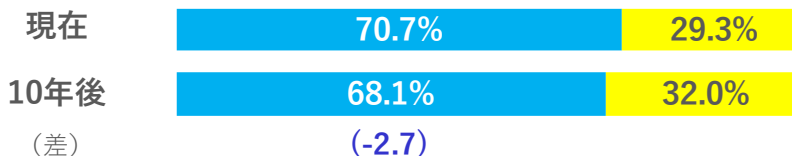


世界には希望がある



英国

現在の指数：6.06 /10点満点
10年後の指数：6.06 /10点満点 (-0.01)



【基数：対象者全員（日本：n=12000/英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）

※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後－現在

生活や社会についての「実感」 - 【安心】：現在の実感と10年後の期待

日本Q1/英国Q9：現在の世界や自国社会、ご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。

日本Q4/英国Q12：10年後の世界や自国社会、ご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、10年後はどうなっていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。

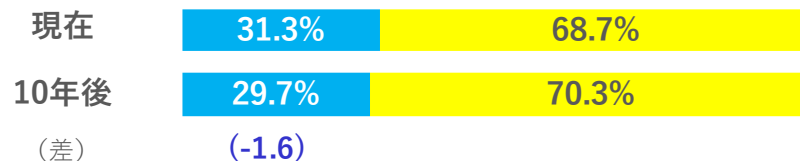
(「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答)

	日本	英国
3指数の平均 現在：	3.87	5.60
10年後：	3.77	5.71
	(-0.10)	(+0.11)

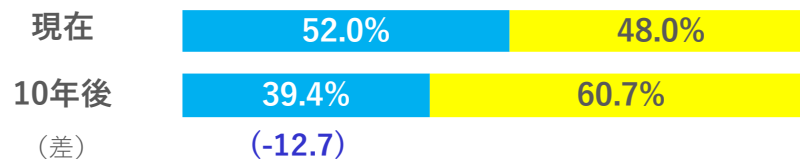
日本

現在の指数： 3.45 /10点満点
10年後の指数： 3.42 /10点満点 (-0.03)

自分の生活や仕事には不安がない



自分の住む地域社会には不安がない



自国には不安がない

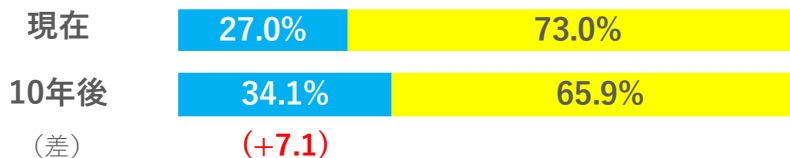
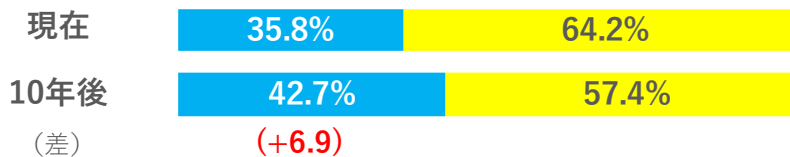
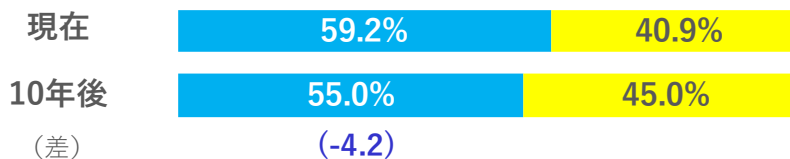
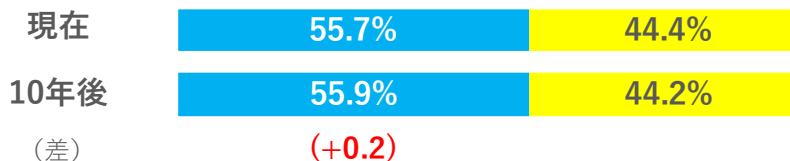


世界には不安がない



英国

現在の指数： 4.67 /10点満点
10年後の指数： 4.80 /10点満点 (+0.13)



【基数：対象者全員（日本：n=12000/英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）

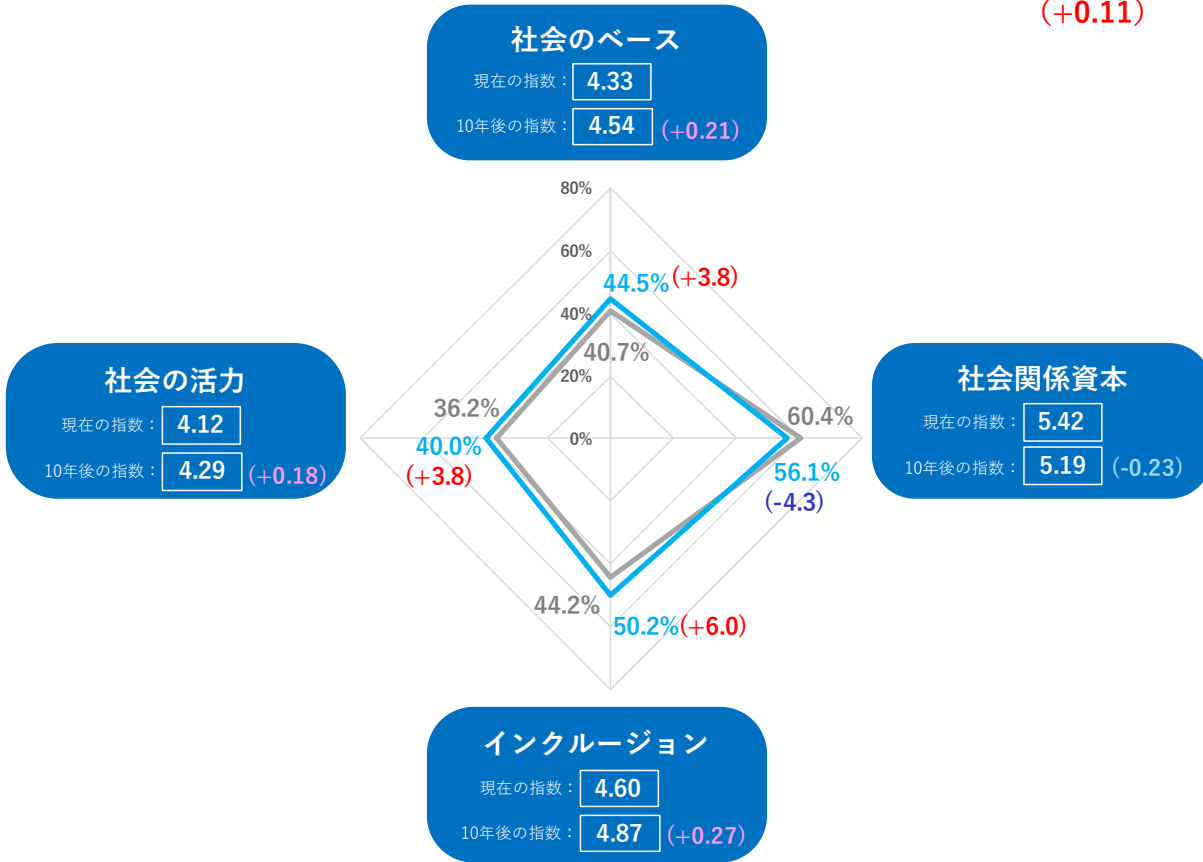
※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後-現在

※調査では「不安がある」かについてを4段階で聴取したが、余力・希望と方向を揃えるために、選択肢を変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）のスコアをそう思う計（「そう思う」+「ややそう思う」）として使用

「社会の質」についての「評価」：現在の評価と10年後の期待

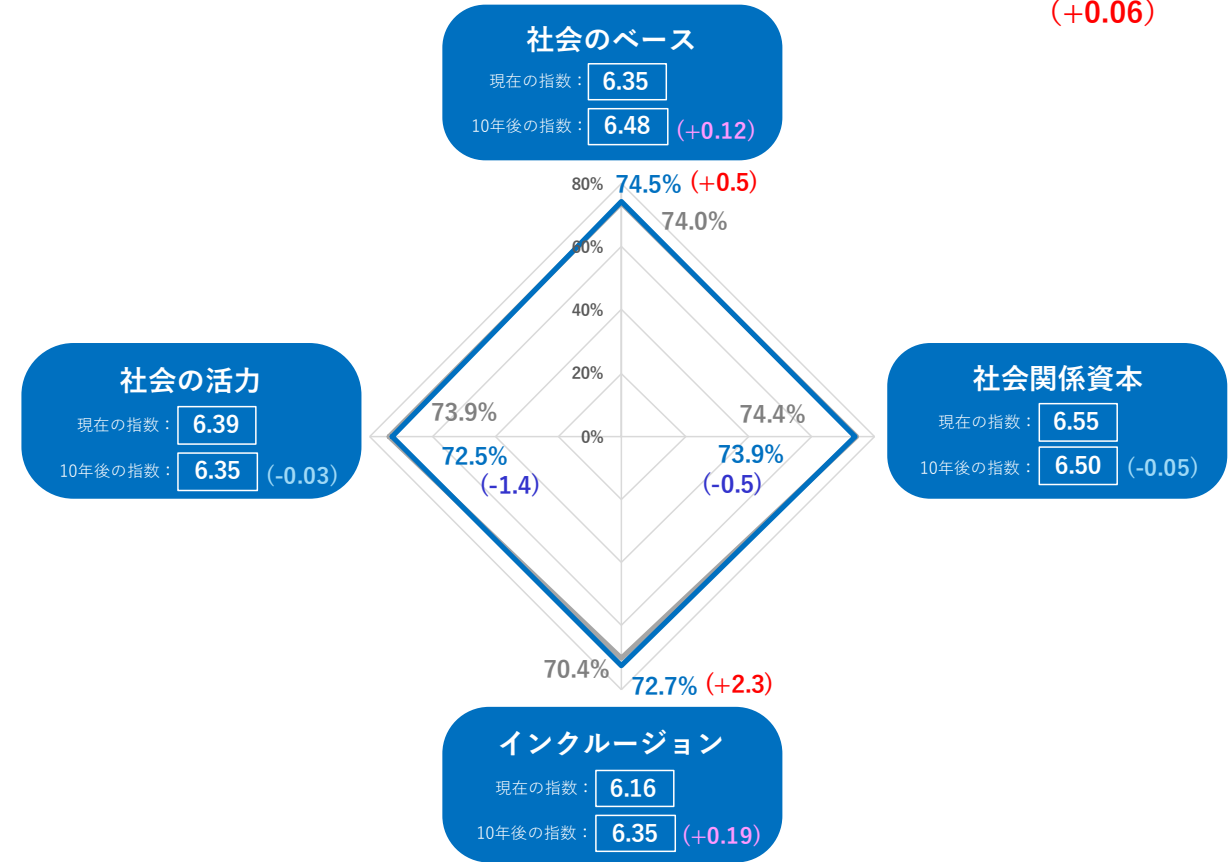
日本

4指数の平均 現在： **4.62** /10点満点
 10年後： **4.72** /10点満点
 (+0.11)



英国

4指数の平均 現在： **6.36** /10点満点
 10年後： **6.42** /10点満点
 (+0.06)



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】
 ※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後－現在

—：現在 そう思う計（そう思う+ややそう思う）
 —：10年後 そう思う計（そう思う+ややそう思う）

「社会の質」についての「評価」－【社会のベース】：現在の評価と10年後の期待

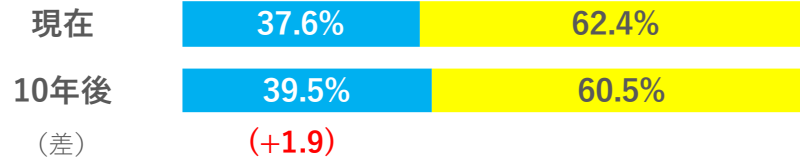
日本Q2/英国Q10：現在の自国社会やご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 日本Q5/英国Q13：10年後の自国社会やご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、10年後はどうなっていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 （「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答）

4指数の平均 現在：日本 4.62 英国 6.36 /10点満点
 10年後：日本 4.72 英国 6.42 /10点満点
 (+0.11) (+0.06)

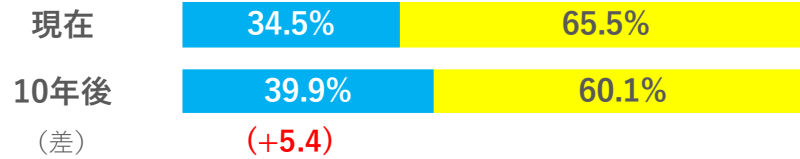
日本

現在の指数：4.33 /10点満点
 10年後の指数：4.54 /10点満点 (+0.21)

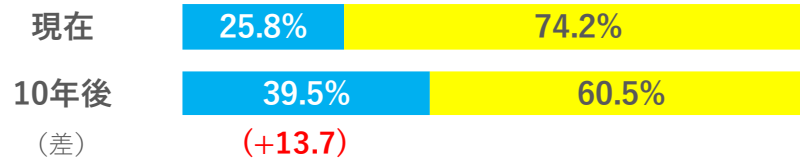
自国では、人びとの生活の安定を支える公的なしくみが充実している



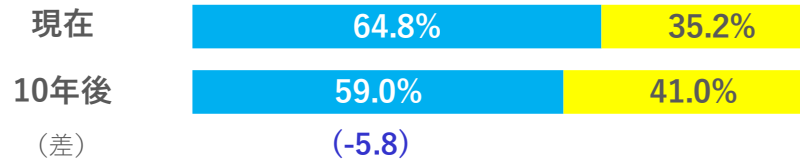
自国は、子をもち、育てやすい環境が整っている



自国は、大震災、感染症、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクに対して十分な対応が整っている

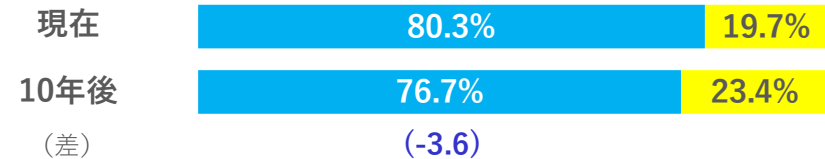
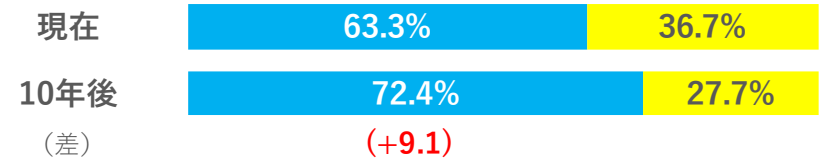
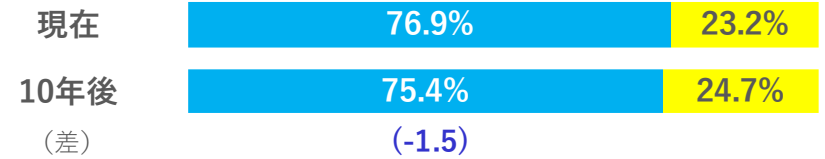
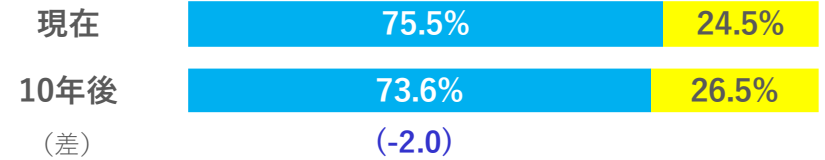


自国は、社会や経済が大きなダメージを受けても復興・復旧する力がある



英国

現在の指数：6.35 /10点満点
 10年後の指数：6.48 /10点満点 (+0.12)



【基数：対象者全員（日本：n=12000/英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）
 ※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後－現在

「社会の質」についての「評価」－【社会関係資本】：現在の評価と10年後の期待

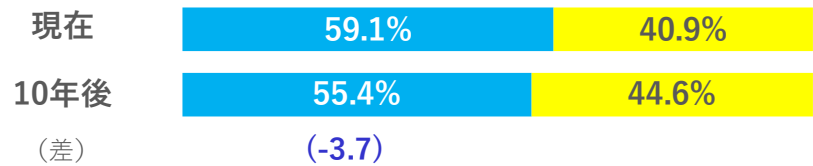
日本Q2/英国Q10：現在の自国社会やご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 日本Q5/英国Q13：10年後の自国社会やご自身の生活についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、10年後はどうなっていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 （「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答）

	日本	英国
4指数の平均 現在：	4.62	6.36
10年後：	4.72	6.42
	(+0.11)	(+0.06)

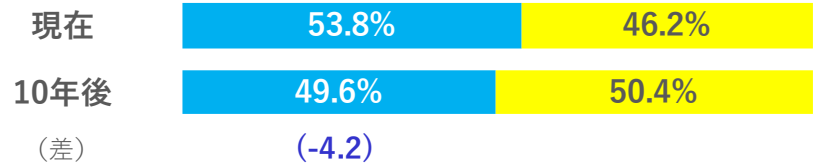
日本

現在の指数： 5.42 /10点満点
 10年後の指数： 5.19 /10点満点 (-0.23)

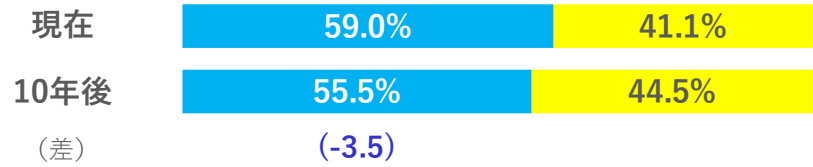
自分は、家族以外に信頼できる人がある



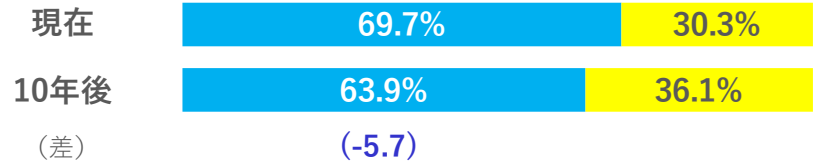
自国は、他者への信頼感が高い社会である



自国では、人びとは日常的にお互い助け合っている

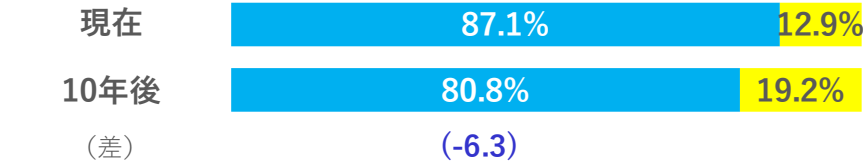
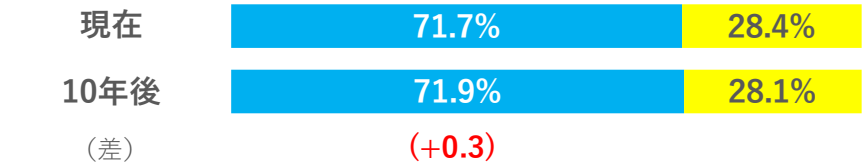
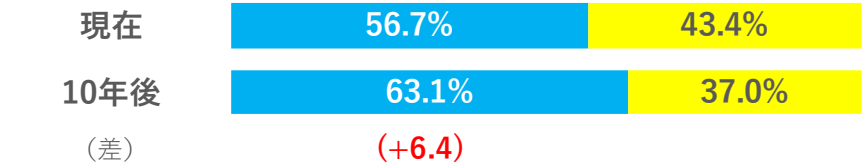
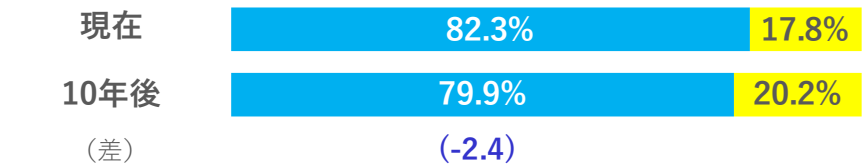


自国では、非常事態が発生した時にお互い助け合うことができる



英国

現在の指数： 6.55 /10点満点
 10年後の指数： 6.50 /10点満点 (-0.05)



【基数：対象者全員（日本：n=12000/英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）
 ※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後－現在

「社会の質」についての「評価」－【インクルージョン】：現在の評価と10年後の期待

日本Q2/英国Q10：現在の自国社会やご自身の生活についておうかがいします。次あげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 日本Q5/英国Q13：10年後の自国社会やご自身の生活についておうかがいします。次あげる項目それぞれについて、10年後はどうなっていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 （「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答）

4指数の平均 現在：

日本	4.62
英国	6.36

 /10点満点
 10年後：

日本	4.72
英国	6.42

 /10点満点
 (+0.11) (+0.06)

日本

現在の指数：

4.60

 /10点満点
 10年後の指数：

4.87

 /10点満点 (+0.27)

英国

現在の指数：

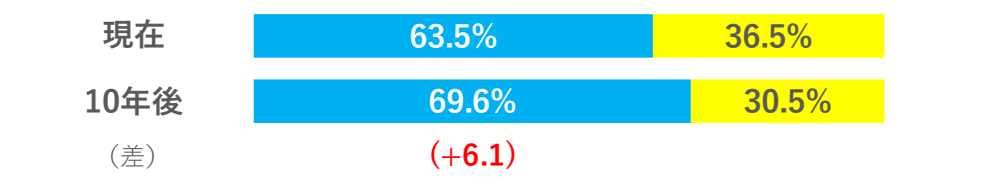
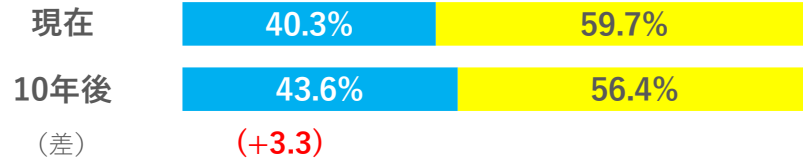
6.16

 /10点満点
 10年後の指数：

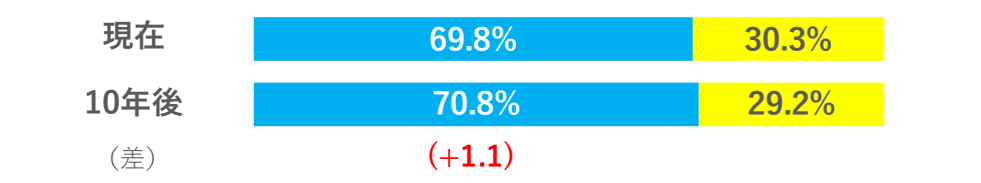
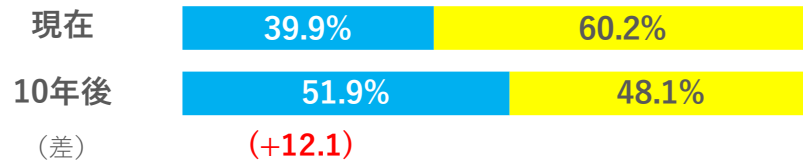
6.35

 /10点満点 (+0.19)

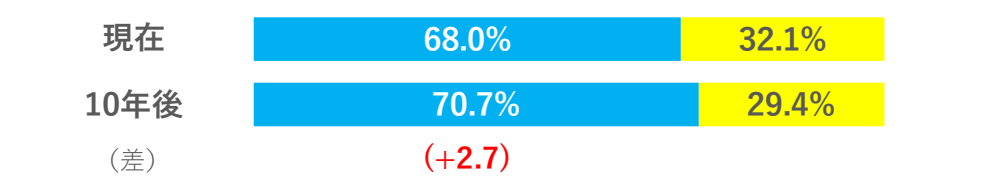
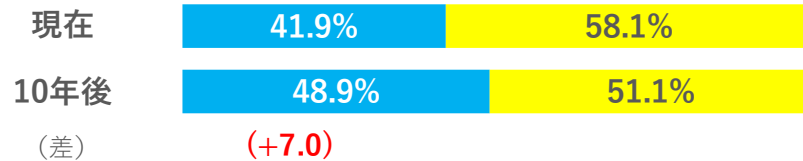
自国では、教育や就業について機会の平等が実現されている



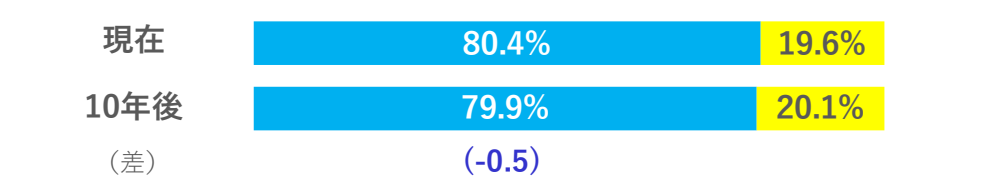
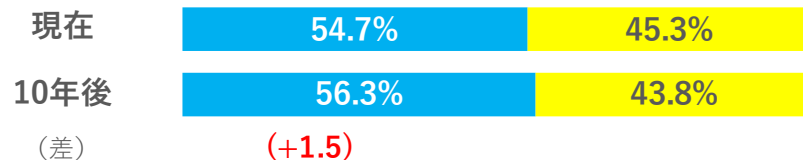
自国では、多様な価値観・生き方が尊重されている



自国では、自分と異なる人種・国籍・宗教・性別・年齢の人に対して寛容である



自国では、子どもの権利*1が守られている



【基数：対象者全員（日本：n=12000/英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）
 ※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後－現在
 *1：ユニセフによれば「子どもの権利条約」の一般原則とは①命を守られ成長できること、②子どもにとって最善の利益を第一に考えること、③意見を表明し参加できること、④差別のない

「社会の質」についての「評価」－【社会の活力】：現在の評価と10年後の期待

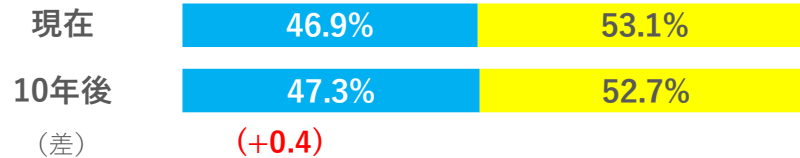
日本Q2/英国Q10：現在の自国社会やご自身の生活についておうかがいします。次あげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 日本Q5/英国Q13：10年後の自国社会やご自身の生活についておうかがいします。次あげる項目それぞれについて、10年後はどうなっていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 （「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答）

4指数の平均 現在：日本 4.62 英国 6.36 /10点満点
 10年後：日本 4.72 英国 6.42 /10点満点
 (+0.11) (+0.06)

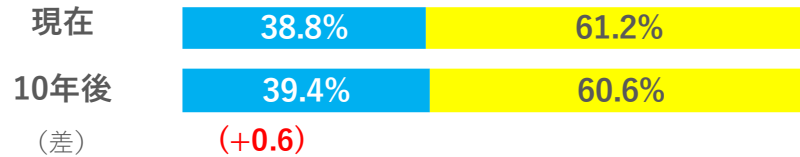
日本

現在の指数：4.12 /10点満点
 10年後の指数：4.29 /10点満点 (+0.18)

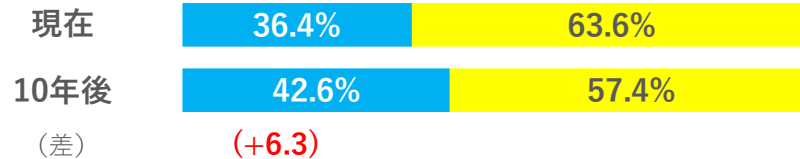
自国では、人びとが
失敗しても再チャレンジ
することができる



自国社会は、
一人ひとりの力で変える
ことができる



自国社会の制度は、
政治・社会運動や社会貢献活動、
SNSでの意思表示などによって
変えることができる

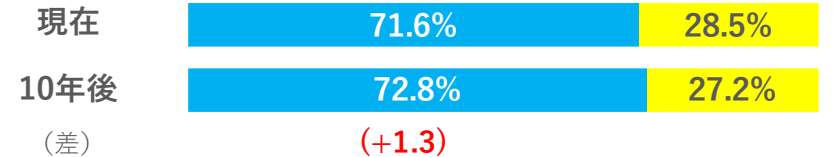
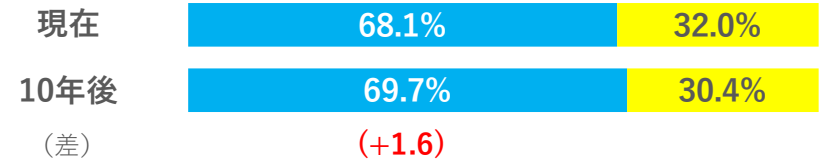
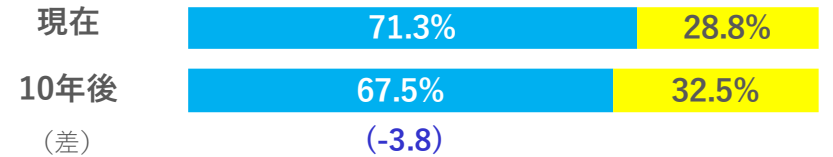
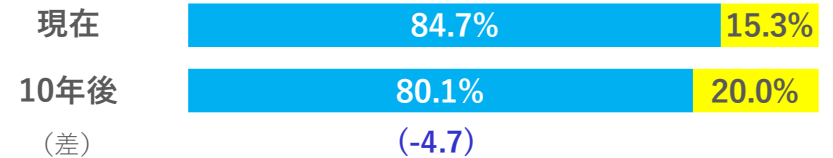


自国の社会や経済には
活力がある



英国

現在の指数：6.39 /10点満点
 10年後の指数：6.35 /10点満点 (-0.03)

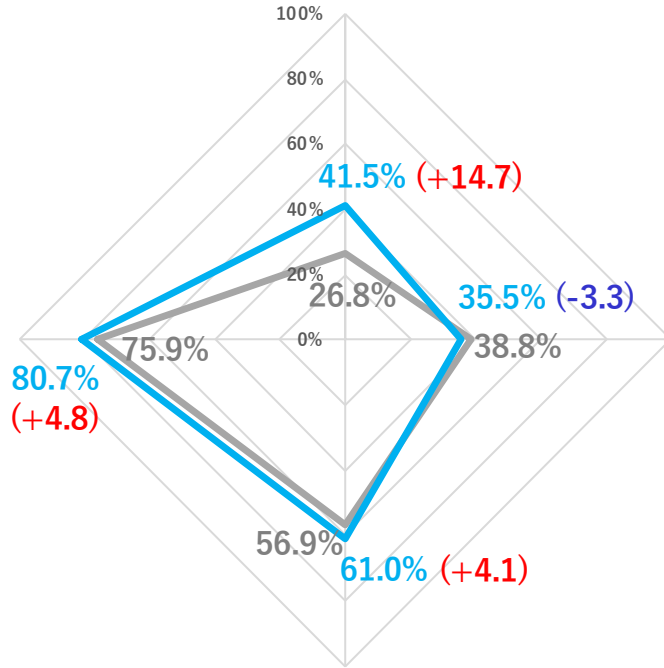


【基数：対象者全員（日本：n=12000/英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）
 ※指数は10点満点、算出方法は前述（P7）の計算方法を参照 ※（ ）内のスコアは10年後－現在

DX有効感について：現在の実感と10年後の期待

日本

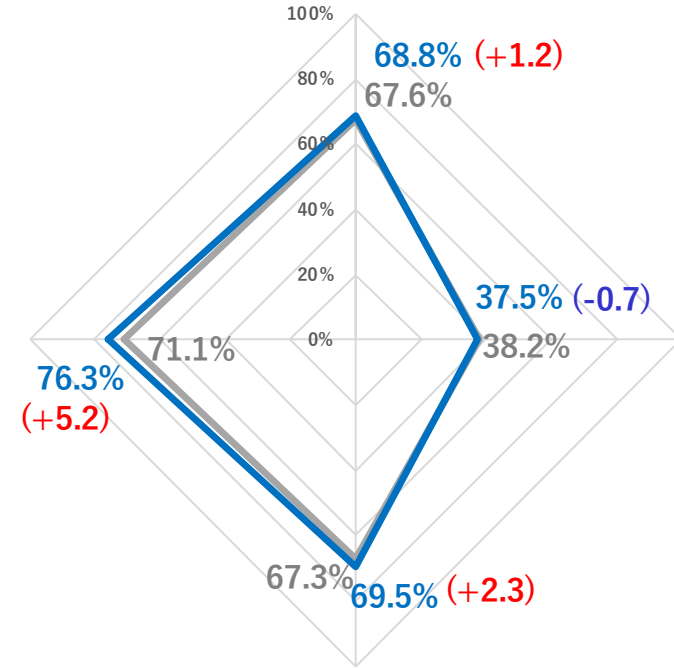
デジタル化によって、教育機会が拡大し、
不平等が解消されている



デジタル化によって、人びとの暮らしは
豊かになっている

英国

デジタル化によって、教育機会が拡大し、
不平等が解消されている



デジタル化によって、人びとの暮らしは
豊かになっている

【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：現在 そう思う計（そう思う+ややそう思う） ■：10年後 そう思う計（そう思う+ややそう思う） ※（ ）内のスコアは10年後－現在のスコア
 ※調査では、同じ意味合いを持った「デジタル化によって、教育機会が拡大し、不平等が解消されている」と「デジタル化によって、教育機会が不均衡になり、格差が拡大している」を聴取したが、レーダーチャートでは、「デジタル化によって、教育機会が拡大し、不平等が解消されている」のスコアのみを使用
 *1：調査では「デジタル化によって、人間性が損なわれている」と聴取したが、本レポートでは「デジタル化によって、人間性が損なわれていない」に変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）のスコアを
 そう思う計（「そう思う」+「ややそう思う」）として使用

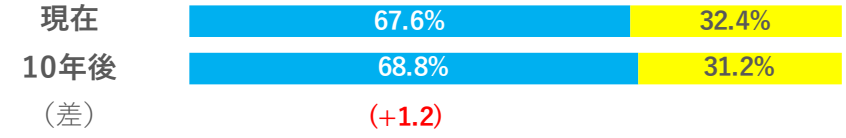
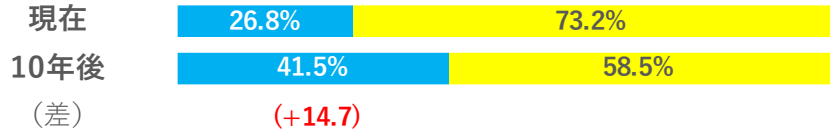
DX有効感について：現在の実感と10年後の期待

日本Q3／英国Q11：現在の技術革新やそれに伴う社会の変化についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 日本Q6／英国Q14：10年後の技術革新やそれに伴う社会の変化についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、10年後はどうなっていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
 （「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答）

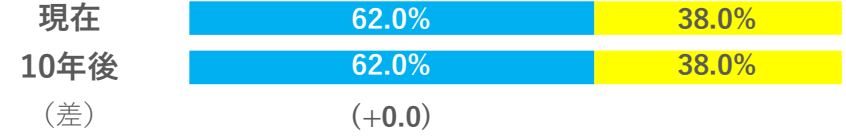
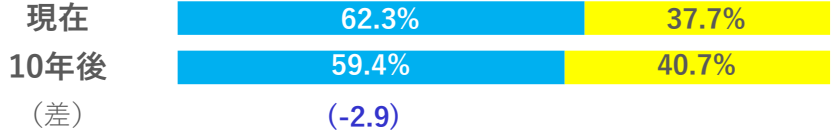
日本

英国

デジタル化によって、
教育機会が拡大し、不平等
が解消されている



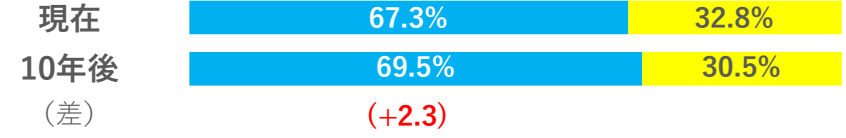
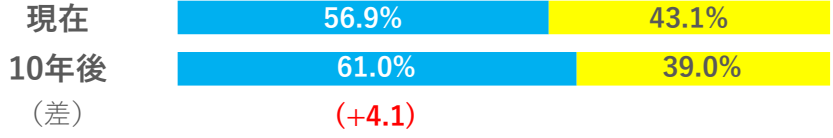
デジタル化によって、
教育機会が不均衡になり、
格差が拡大している



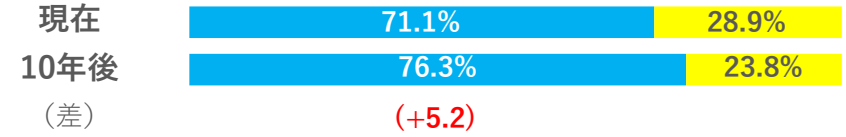
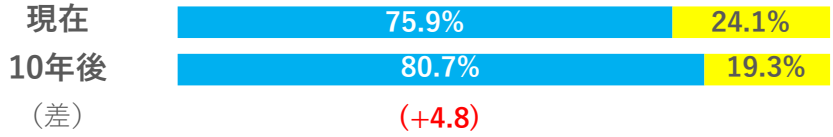
デジタル化によって、
人間性が損なわれていない
*1



デジタル化によって、
人びとの暮らしは豊かに
なっている



デジタル化によって、
レンタルやシェアサービス
などの利用が加速している



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う）／■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない） ※（ ）内のスコアは10年後－現在
 *1：調査では「デジタル化によって、人間性が損なわれている」と聴取したが、本レポートでは「デジタル化によって、人間性が損なわれていない」に変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）のスコアを
 そう思う計（「そう思う」+「ややそう思う」）として使用

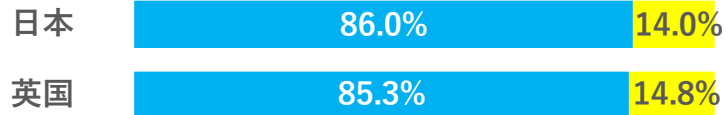
3. 選好する社会像について

選好する社会像について

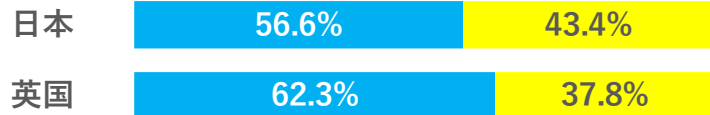
日本Q7/英国Q15：今後、自国が目指すべき方向性についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
（「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答）

環境

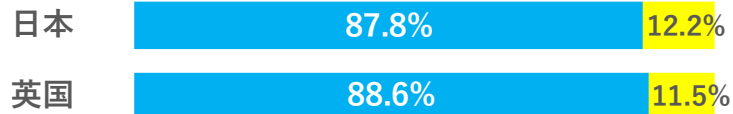
自国は、経済力の維持と地球規模の環境問題の解決の両立を目指すべきだ



自国は、経済力の維持よりも地球規模の環境問題の解決を重視して取り組むべきだ

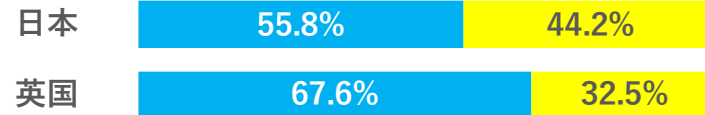


自国は、再生可能な資源の利用やリサイクルの促進により、廃棄物の発生を最小化し環境への負荷を低減した「循環型社会」を目指すべきだ

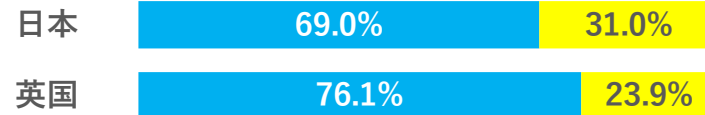


国際協力

自国は、自国の利益より、他国と協調してグローバルな社会課題を解決することを優先すべきだ

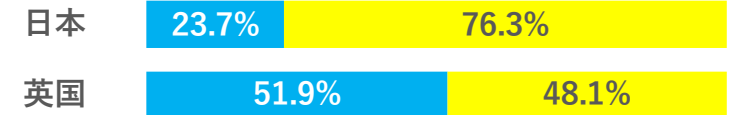


自国は、国際協調より、自国の社会問題を解決することを優先すべきだ

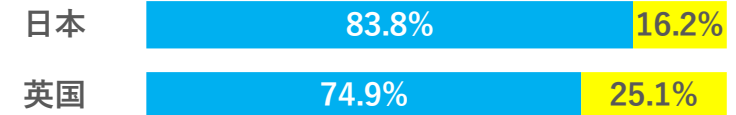


統治システム

自国は、政治・経済・文化などの重要な機能が、少数の大都市に効率的に集中している「一極集中型」社会を目指すべきだ



自国は、コミュニティ・経済などの機能が集約されている地域が多数存在し、地域ごとの文化や生活に多様性があり、リスクも分散できる「多極型」社会を目指すべきだ



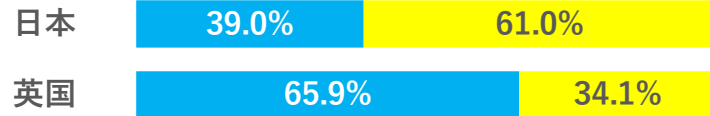
【基数：対象者全員（日本：n=12000/英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）

選好する社会像について

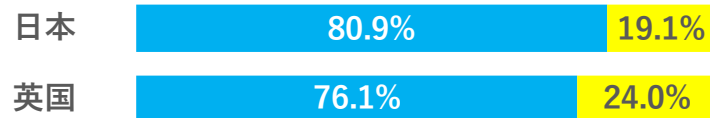
日本Q7／英国Q15：今後、自国が目指すべき方向性についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
（「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答）

行政改革

人びとの生活に密接に関わる行政サービスについて、
自国政府が多くの権限をもち決定すべきだ

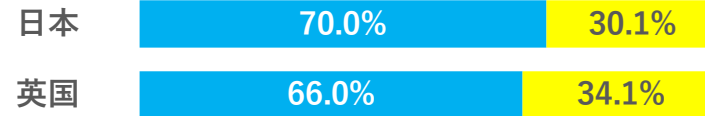


人びとの生活に密接に関わる行政サービスについて、
自国政府は各自治体に多くの権限を移譲すべきだ

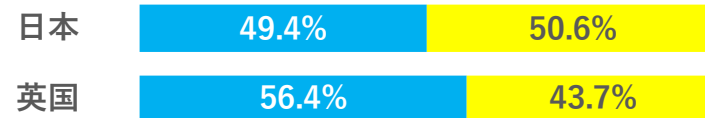


社会費用負担

自国は、個人の税負担は大きい、福祉などの
行政サービスが充実した社会を目指すべきだ

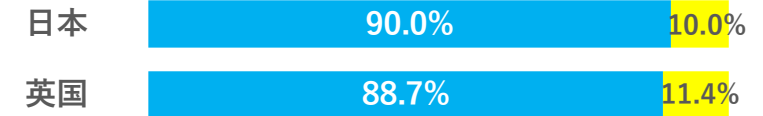


自国は、福祉などの行政サービスを必要最小限に絞り、
税負担の少ない社会を目指すべきだ

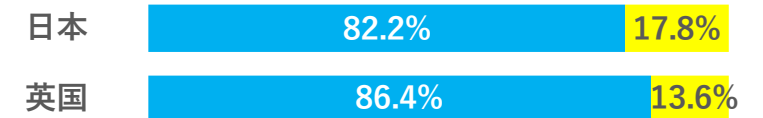


インクルージョン

自国は、新しいアイデアが尊重される社会を
目指すべきだ



自国は、他者の言動に対して寛容な社会を
目指すべきだ



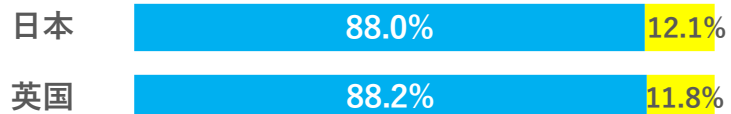
【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う）／■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）

選好する社会像について

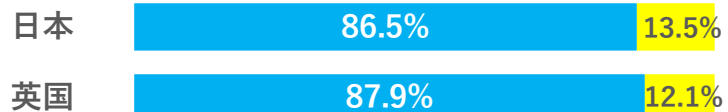
日本Q7／英国Q15：今後、自国が目指すべき方向性についておうかがいします。次にあげる項目それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをひとつずつお知らせください。
（「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択から回答）

機会の平等

自国は、年齢・国籍・人種・性別などに関係なく、教育の機会の平等が保障された社会を目指すべきだ

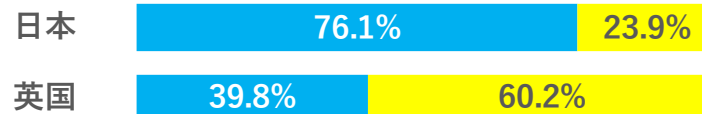


自国は、年齢・国籍・人種・性別などに関係なく、就業の機会の平等が保障された社会を目指すべきだ

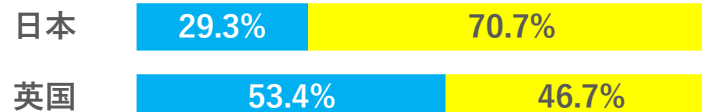


人口減少社会

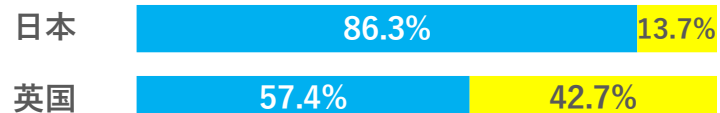
自国は、人口を維持するために、出生数を増やすべきだ



自国は、人口を維持するために、移民を受け入れるべきだ

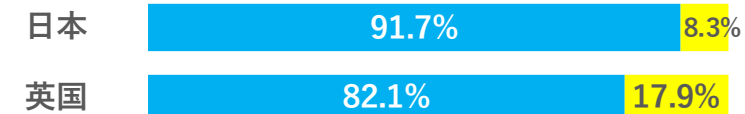


自国は、人口が減ることを前提に、社会のあり方を考えるべきだ



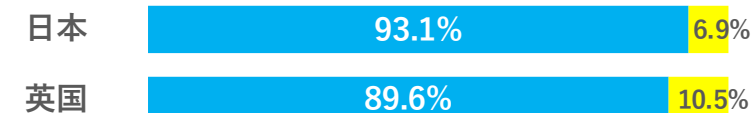
次世代

自国は、子をもち、育てやすい社会を目指すべきだ



社会のベース

自国は、大震災、感染症、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクへの備えができていく社会を目指すべきだ



【基数：対象者全員（日本：n=12000／英国：n=2000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う）／■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）